

令和 6 年度

1 事 業 報 告 書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ふじの園
法 人 本 部

1 社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。そして、子どもたちが自分らしく幸せに生きていくことができるように、いつでもどんな時でも子どもたちを支えていきたいと願っています。

2 事業概況

令和6年度各施設の行事関係はコロナ禍前の実施状況に戻ってきたが、事業は精査し新たな展開に目を向けながら運営してきました。コロナ感染症以外の感染症の影響がありましたが、一関藤の園では各事業を通常どおり実施しました。特にクリスマス会は昨年同様外部の方々を招待して行うことができ、和気あいあいの時間を過ごすことができました。3月には7名の児童が退所予定です。一関藤保育園でも各種行事を通常どおり実施しました。3月には19名が卒園し、令和7年度4月には105名が入所予定です。法人本部主催の子ども食堂も予定どおり3回実施することができました。新規事業である一関市こども第三の居場所・児童育成支援拠点事業を「ういすてりあ」（藤の花）と命名し、2月にプレオープンし、3月14日には一関市とB&G財団が運営上の協定を結び、開所式と内覧会を実施しました。4月1日より本格オープンとなります。

経営面においては児童養護施設に措置される子どもの減少や保育園においても子どもの減少により経営の見通しを再検討しなければならない状況になってきています。今すぐに経営が揺らぐということではないですが、経営ビジョンを正しくもって運営しなければならない段階になってきていると捉えています。

法人本部は、令和6年度もそれぞれの施設の成果と課題を把握し、法令遵守や職員の力を高めるための研修の充実や処遇改善等に指導的役割を担ってきました。また、大きな事業として令和5年度に決定して進めていたこども第三の居場所推進事業及び児童育成支援拠点事業を開設することができました。令和7年度には児童養護施設一関藤の園の地域小規模施設の新築工事を予定し、準備を進めているところです。

3 理事会の開催状況

法人の業務が円滑に推進されるように必要に応じて理事会を次のとおり開催しました。

開催日	出席者数	主 な 内 容
令和6年 6月7日 定 時 (第1回)	理事6名 監事2名	主に、令和6年度法人本部及び各施設の法令遵守の取り組みについての報告と、令和5年度各事業報告及び各決算報告についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 令和5年度法人本部及び各施設の要望等解決事業の結果について (3) 一関市こども第三の居場所推進事業に係る一関市との開設事業補助金交付契約書の締結について (4) 一関市こども第三の居場所推進事業 社会福祉法人ふじの園こども第三の居場所「ういすてりあ」新築工事に係る指名競争入札の結果について 2 決議事項 (1) 令和5年度各事業報告及び各決算報告（計算関係書類）の承認について 監事監査報告 (2) 児童養護施設一関藤の園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (3) 令和6年度定時評議員会の招集事項について

開催日	出席者数	主 な 内 容
令和6年 10月29日 定 時 (第2回)	理事6名 監事2名	主に、一関市こども第三の居場所推進事業の工事の進捗状況と職員就業規則等の制定及び予算等についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況（令和6年6月～10月）の報告について (2) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」新築工事の係る監理業務委託契約の専決について (3) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」新築工事の進捗状況と今後の予定について (4) 一関市長寿社会課による社会福祉法人指導監査結果と是正改善について 2 決議事項 (1) 次期評議員選任・解任委員会の委員の選出について (2) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園職員就業規則の一部改正案の承認について (3) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園嘱託職員等就業規則の一部改正案の承認について (4) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園職員給与規程の一部改正案の承認について (5) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園嘱託職員等給与規程の一部改正案の承認について (6) 令和6年度一関市こども第三の居場所推進事業（運営事業）補助金交付契約書案及び令和6年度児童育成支援拠点事業業務委託契約書案の締結について (7) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」管理責任者（事業所長）の選任について (8) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」職員就業規則案及び嘱託職員等就業規則案の制定について (9) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」職員給与規程案及び嘱託職員等給与規程案の制定について (10) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」運営規程案の制定について (11) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」要望等解決処理規程案の制定について (12) 児童育成支援拠点事業・子ども第三の居場所「ういすてりあ」開設事業及び事業運営に係る資金収支予算案について (13) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設新築工事の基本構想について (14) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設新築工事のタイムスケジュール案について (15) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設新築工事の資金収支予算案について (16) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設新築工事基本設計業務委託契約及び実施設計業務委託契約を理事長に一任することについて (17) 児童養護施設一関藤の園に係る入所定員の見直し案について (18) 令和6年度法人本部及び各施設の資金収支補正予算（案）の承認について

開催日	出席者数	主 な 内 容
令和7年 1月27日 臨時 (第1回)	理事6名 監事2名 (書面)	主に、第三の居場所「ういすてりあ」に関する開発費と運営費の資金収支予算案等の審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1 決議事項 (1) 第三の居場所「ういすてりあ」に係る開発費資金収支予算案及び令和6年度運営費資金収支予算案の承認について (2) 法人本部拠点区分の積立金の取り崩し案の承認について (3) 法人本部拠点区分から第三の居場所「ういすてりあ」拠点区分への繰入案の承認について (4) 法人本部拠点区分資金収支補正予算案の承認について (5) 社会福祉法人ふじの園経理規程の一部改正案の承認について
令和7年 3月25日 定時 (第3回)	理事6名 監事2名	主に、児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築工事に係る指名競争入札参加業者の選定案、指名競争入札の執行案、指名競争入札の予定価格と落札業者との工事請負契約を理事長に一任することについての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1 報告事項 (1) 理事長の職務執行状況の報告について (2) 児童養護施設一関藤の園及び認定こども園一関藤保育園に係る県南広域振興局指導監査課による社会福祉施設指導監査の結果について (3) 令和6年度資金収支予算に係る予備費の使用の専決処分について (4) 第三の居場所「ういすてりあ」に係る開設費の収支報告と運営状況について 2 決議事項 (1) 小山顧問の法人本部事務局次長の就任について (2) 社会福祉法人ふじの園育児・介護休業等に関する規則の一部改正案の承認について (3) 各施設・事業所の職員就業規則及び嘱託職員等就業規則の一部改正案の承認について (4) 認定こども園一関藤保育園職員給与規程及び嘱託職員等給与規程の一部改正案について (5) 児童養護施設一関藤の園管理規程の一部改正案の承認について (6) 令和6年度法人本部及び各施設・事業所の資金収支補正予算案の承認について (7) 令和7年度法人本部及び各施設・事業所の事業計画案の承認について (8) 令和7年度各施設会計からの法人本部会計への繰入案の承認について (9) 令和7年度法人本部及び各施設・事業所の資金収支当初予算案の承認について (10) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築に係る資金収支予算案について (11) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築工事に係る指名競争入札参加業者の選定案について

開催日	出席者数	主 な 内 容
令和7年 3月25日 定 時 (第3回)	理事6名 監事2名	(12) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築工事に係る指名競争入札の執行案について (13) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築工事に係る指名競争入札の予定価格を理事長に一任することについて (14) 児童養護施設一関藤の園地域小規模児童養護施設の新築工事に係る落札業者との工事請負契約を理事長へ一任することについて

4 評議員会の開催状況

法人の議決機関として評議員会を次のとおり開催しました。

開催日	出席者数	主 な 内 容
令和6年 6月25日 定 時 (第1回)	評議員 7名	主に、令和5年度法人本部及び各施設の事業報告、令和6年度の事業計画の報告、令和5年度決算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録についての審議を中心に開催され、提案のとおり承認されました。 1 報告事項 (1) 令和5年度法人本部及び各施設の事業報告について (2) 令和6年度法人本部及び各施設の事業計画について 2 決議事項 (1) 令和5年度計算書類(貸借対照表及び収支計算書)及び財産目録の承認について 監事監査報告 (2) 社会福祉法人ふじの園定款の一部改正案の承認について

5 県南広域振興局及び一関市による指導監査

期 日	対象施設	監査機関	結 果 内 容
令和6年10月8日	法人本部	一関市長寿社会課	口頭指摘事項4件 助言事項5件
令和6年12月5日	一関藤保育園	県南広域振興局指導監査課	概ね良好
令和6年12月10日	一関藤の園	県南広域振興局指導監査課	口頭指摘事項1件

6 監事による監査

期 日	出席者数	主 な 内 容
令和6年5月31日	監事2名	令和5年度事業・決算監査及び令和6年1～3月分の出納調査
令和6年9月6日	監事2名	令和6年4～6月分の出納調査
令和6年11月27日	監事2名	令和6年7～9月分の出納調査
令和7年2月7日	監事2名	平成6年10～12月分の出納調査

7 会計事務所による監査

監査実施者	主 な 内 容
税理士法人奥州会計 熊谷徹哉事務所	毎月1回、拠点区分ごとに元帳及び月次試算表の精査 伝票と証憑書類の突合

8 登記関係

登記日	主 な 内 容
令和6年7月1日	資産総額の変更登記 令和6年3月31日変更 資産総額 18億452万6,323円を17億9,882万7,390円に変更
令和7年2月17日	所有権保存登記 児童福祉施設第三の居場所ういすてりあ使用建物 一関市山目字前田71番地1 126.69㎡

9 要望等解決事業体制

事業所名	苦情受付担当者	苦情解決責任者	第三者委員	苦情受付件数
法人本部	渡部 俊幸（法人事務局長）	橋本 欽哉（法人理事長）	鈴木 美樹子（大学教授）	なし
一関藤の園	千葉 美樹子（副園長） 千葉 麻子（保育士）	渡部 俊幸（園 長）	小山 峯雄（地域代表） 長尾 美恵子（民生委員）	3
一関藤保育園	佐々木 利恵（副園長）	斎藤 志華子（園 長）	久保田 文吾（歯科医師） 渡邊 久美子（元職員）	1

10 令和6年度要望等解決処理状況

事業所名	申 出 人 員	苦情の内容（件数）				処 理 数		
		虐待・放置・脅迫・詐欺等	ケアの内容に関わる事項	個人の嗜好選択に関わる事項	その他	施設・事業所内で解決したもの	第三者委員（会）の助言等を得たもの	施設・事業所内で解決にいたらなかったもの
法人本部	0	0						
一関藤の園	3	3	1	2		3		
一関藤保育園	1	1	1			1		
計	4	4	2	2		4		

11 情報公開

	役 員 名 簿	財 産 目 録	事 業 計 画 書	事 業 報 告 書	第 三 者 評 価 結 果	苦 情 処 理 結 果	貸 借 対 照 表	資 金 収 支 報 告 書	事 業 活 動 計 算 書
閲 覧	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ホームページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広 報 誌（一関藤の園）			○	○				○	○

12 令和6年度地域貢献活動

活 動 名	活 動 内 容	回数（人数）
子ども食堂の開催	年3回、春休みや夏休み、冬休みに山目市民センターを利用する児童を対象に子ども食堂を開催。参加者は約20名。	3
あんしんサポート事業	岩手県社会福祉法人経営者が中心となり、困窮世帯を経済的に支援する取り組み。	3

令和6年度

2 事業報告書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和6年3月31日

社会福祉法人 ふじの園
児童養護施設一関藤の園

1 一関藤の園基本理念・基本方針・養護目標

1 社会福祉法人ふじの園基本理念

『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちの法人・施設は、キリスト教のカトリックの精神を拠りどころに運営されています。私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。

2 児童養護施設一関藤の園基本理念・養護方針・養護目標

・基本理念『祈りと感謝の心』

私たちは、キリストの愛の精神に基づき、子どもの生命と人権を守り、自己実現と自立のために継続的な養育を通して子どもの最善の利益の実現をめざします。

・養護方針

私たちは、日本国憲法、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法の精神を尊重しキリスト教の理念である愛と平和と平等をもとに子どもの育ちを保障し次に掲げる養護方針を実践します。

- (1) 私たちは、家庭的養護と子ども一人ひとりのニーズに応じた養育をおこないます
- (2) 私たちは、子どもの発達を保障し自立支援の充実につとめます
- (3) 私たちは、子どもの心身の回復をめざした支援をおこないます
- (4) 私たちは、家族との信頼関係を築き連携・協働した支援をおこないます
- (5) 私たちは、継続的な支援と連携アプローチによる支援をおこないます
- (6) 私たちは、ライフサイクルを見通した支援をおこないます

・養護目標（めざす子ども像）

『自己実現のために個性や可能性を最大限に発揮して未来を切り開く子ども』

- (1) 『ありがとう』と言える子どもの育成
(素直に感謝の気持ちを表現できる子ども)
- (2) 『ごめんなさい』と言える子どもの育成
(素直に自分のおこないを振り返ることができる子ども)
- (3) 『お願いします』と言える子どもの育成
(良好な人間関係を築くことができる子ども)

2 施設運営関係

2-1(1) 【令和6年度事業の総括】

令和6年度は、定員が46名から暫定定員44名（本体施設38名、地域小規模児童養護施設6名）となり、入所現員は38名（一時保護児童1名を含む。令和5年度は34名）であり、入所率は定員に対して83%からのスタートでした。

新型コロナウイルス感染症前の日常を取り戻すとともに子どもの意見表明がより鮮明に打ち出されたこともあり子どもたちが生活の主体者であることを意識した養育に努めました。子どもたちの「やってみたい」、「やりたい」という気持ちをしっかり受け止め、やりたいことを実現できる、応援できる施設運営を目指しました。

施設運営では、一関市の委託事業であるこども第三の居場所「ういすてりあ」の令和7年2月のプレオープン、4月1日の正式オープンに向けて法人と連携して準備を進めました。また、同地内に地域小規模児童養護施設1か所を新築する計画を進め、令和7年度中に建物を完成し令和8年4月からの本格的な使用に向けて準備を進めました。入所児童が減少傾向にあることから入所定員を見直し、令和7年4月から本園6ユニットを1ユニット減らし5ユニットとし本園定員を40名から10名減員し定員30名、地域小規模児童養護施設と合わせて全体で36名の定員とする計画を進めました。

養育関係では、個別の関わりを意識し日々の生活を丁寧に支援するとともに要望ノートやホーム会議、自治会等の機会を通して子どもたちの意向を尊重した養育に努めました。全体的な恒例行事を実施するとともに各ユニットの裁量と児童の要望等に沿った行事を企画し実施しました。

また、個人的な要望にも出来る限り応えるように努めました。令和6年度は退所予定児童が7名であったことから関係機関とも連携し進路を決定することができました。退所後の一人暮らしを想定した自立生活体験、職場体験等を積極的に実施しました。また、家族との面会や遠隔地の家族とはズームによる面談、職員による家庭訪問を適宜実施し家族との情報交換を図り信頼関係の構築に努めました。更に学校や児童相談所、医療機関、自立支援事業所等とも緊密に連携し児童の養育・自立支援の充実強化を図っています。

人事・労務・研修関係では余裕のない職員体制ではありましたが、ユニット職員間及び専門職員との連携を図り業務に支障のないように努めました。今後も職員体制を充実させ職員が安心して働くことのできる職場環境の整備、職員同士が支え合う職場作りに努めていきます。

研修関係では、内部研修を充実させるとともに新任職員を対象としたフォローアップ研修を定期的に行いました。また、若手職員の自主的な勉強会についても支援を行っています。外部研修については、階層・職種を考慮しながら職員を積極的に派遣することができました。

年間を通して、多くの方々から多額の寄附金、物品の寄贈、イベント等の企画や招待を受けています。私たちは、多くの支援者の思いに応えることができるよう今後も養育の充実、施設の機能強化に取り組んでまいります。

2-② 令和6年度の主な出来事（敬称略）

日 時	主 な 出 来 事
4 月 1 日	本園入所児童 33 名、地域小規模児童養護施設入所児童 5 名、計 38 名、職員 41 名でスタートする。定員は本体施設 40 名から暫定定員 38 名となり、地域小規模児童養護施設 6 名と合わせて 44 名の暫定定員となる。
4 月 7 日	厳美溪温泉いつくし園に招待される。
4 月 21 日	市の一斉清掃に職員・児童参加する。
4 月 28 日	園遊会を行う。
5 月 15 日	62 回目の開園記念日を祝う。
5 月 16 日	法人・施設連絡会
5 月 25 日	マリア祭を行う。
5 月 30 日	県南広域振興局長他来園する。
6 月 4 日	日本国際婦人協会より寄附金の贈呈式がフランス大使館で行われる。
6 月 7 日	第 1 回定時理事会 決算・事業報告等が承認される。
6 月 12 日	一関児童相談所との連絡協議会を行う。
6 月 23 日	大船渡市長杯球技大会に参加する。
6 月 25 日	定時評議員会
7 月 10 日	岩手県福祉総合相談センターとの連絡協議会を行う。
7 月 18 日	法人・施設連絡会
7 月 24 日	J A 平泉よりミニトマトの収穫体験の招待を受ける。
7 月 25 日	法人主催の子ども食堂へボランティアとして職員参加する。
7 月 29 日	転地養護（～30 日：袖ヶ浜海水浴場、仙台海の森水族館）
8 月 2 日	青森ねぶた見学～3 日
8 月 6 日	ブルーベリーの収穫体験をする。
8 月 10 日	NPO みらいの森主催のサマーキャンプに参加する。（～14 日：花山青少年自然の家）
8 月 13 日	卒園生との野球大会を行う。
8 月 17 日	音楽会に招待される。
8 月 23 日	一関中央ライオンズクラブ主催の夏祭りを行う。
8 月 24 日	東横イン主催のヴァイオリンとピアノの音楽会を体育館で行う。
8 月 25 日	マリア祭を行う。
9 月 21 日	B B S 球技大会に参加する。
9 月 28 日	まんぷく食堂プロジェクトによる B B Q 大会を実施する。
10 月 5 日	運動会を行う。
10 月 14 日	民区の運動会に参加する。
10 月 29 日	第 2 回定時理事会
11 月 10 日	善友乳児院を訪問する。
12 月 5 日	サンタニコラオのお祝いをする。
12 月 10 日	県南広域振興局による指導監査
12 月 13 日	クリスマス会を行う。
12 月 25 日	一関カトリック教会のクリスマスミサに預かる。
12 月 26 日	和太鼓の演奏会 法人主催の子ども食堂へボランティアとして職員参加する。
3 月 2 日	高校 3 年生を送る会を行う。
3 月 22 日	新年度のホーム体制発表（30 日から新体制）
3 月 25 日	第 3 回定時理事会 令和 7 年度の当初予算・事業計画が承認される。
3 月 31 日	法人主催の子ども食堂へ児童と職員が参加する。

2-③ 令和6年度の施設運営重点施策の自己評価

No.	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	第2の地域小規模児童養護施設の開設	地域分散化の一環として、山目字前田地区（第三の居場所ういすてりあ隣接地）に新たに地域小規模児童養護施設を設置する計画を進めました。計画では木造2階建とし定員を6名とします。 令和7年8月上旬に着工し令和8年2月末の完成を目指します。令和8年3月末に入居できるようにします。併せて、本園ユニットの活用方法等を検討しています。
2	権利擁護と法令遵守	園内研修で被措置児童等虐待に関する報告書をもとに虐待事例の読み合わせを行うとともに日頃の養育のあり方についてグループワークを実施しました。また、権利条約の理解を深めることやいわてこどもけんりノートの読み込み、毎月の子どもの関わりに関する自己チェックを実施しました。 令和7年度にいわてこどもけんりノートが更新されることから更に子どもの権利と法令遵守の取り組みを進めていきます。
3	組織体制の整備とチーム力の強化	業務を円滑に遂行できるよう職員間、ユニット間、処遇職員と専門職員等との報告・連絡・相談を意識するとともに朝会やラインワークスの活用などによって情報の共有化を図っています。また、委員会活動が施設運営及び養育の質に直結することからPDCAのサイクルが機能するように活動しています。 課題としては、職員体制が不十分であり職員の確保が喫緊の課題となっています。
4	第三者評価と業務改善	内容評価項目についてはグループごとに自己評価を行い現状把握や今後の取り組みについて話し合いました。業務内容を振り返る機会となり、書類やマニュアルなど必要に応じて見直しを行いました。全体的な第三者評価の内容を理解することや組織的に自己評価する仕組み、マニュアル等の周知徹底などが課題として挙げられます。令和7年度に評価機関の受審に向けて準備を進めていきます。
5	職員研修の充実	人材の育成が施設運営の根幹であることを認識し階層別、職種別の研修の充実を図りました。全国レベルのSBI研修や子どもの虹情報研修センターが実施する研修に職員を派遣しました。 課題としては、研修のフィードバックや研修報告の機会の確保が挙げられます。また個別研修計画に沿ったスキルアップの仕組み作りも必要だと考えています。
6	経営の健全化・安定化	ホーム単位で水道光熱水費の節約に取り組んでおり、その効果が表れています。職員会議等で経営状況を報告し収支バランスを考慮した施設運営を目指しました。児童に関わる経費については、児童の意向を尊重し、できる限り叶えるようにしています。消耗品や備品についてもその必要性や価格を検討しながら購入しています。 事業活動支出の大きなウエイトを占める人件費についても職員の意識改革を進め業務内容の見直しを行っています。 物価高騰や社会情勢の変化を敏感に捉え、更に健全な施設運営に努めていきます。

2-(4) 会議・委員会の開催状況

会 議 名	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
職 員 会 議	4/10	5/1	6/5	7/3 7/17	8/21	9/4	10/2	11/6	12/4	1/15	2/12	3/5	13
運 営 会 議	4/24		6/12			9/11			12/18	1/29	2/12		6
主 任 会 議	4/10 4/24	5/1 5/15	6/19	7/3 7/17	8/21	9/4 9/18	10/2 10/16	11/20 11/27	12/4 12/18	1/15 1/22	2/5 2/26	3/5	21
ホーム・フロア会議	4/17		6/5			9/18	10/9	11/6	12/4		2/5	3/5	8
ケース検討会議			6/19	7/10		9/4	10/30			1/22	2/19		6
自立支援会議	4/24	5/15				9/25	10/16						4
企 画 委 員 会	4/10	5/1	6/5 6/19	7/3	8/21	9/4	10/2	11/6	12/4	1/15	2/12	3/5	13
リスマネ委員会	4/17		6/19	7/17		9/18	10/30	11/27			2/19		7
給 食 委 員 会				7/10							2/19		2
安 全 委 員 会			6/26			9/25			12/18		2/26		4
感染症対策委員会	4/17		6/26					11/27			2/5		4
性 教 育 委 員 会		5/15		7/17		9/25					2/26		4
苦情等解決委員会													0
広 報 委 員 会	4/17				8/21		10/30			1/15	2/19		5
メディア委員会	4/24										2/5		2
進学支援委員会													0
研 修 委 員 会	4/17			7/3		9/11				1/29	2/5		5
環境美化委員会	4/24					9/11		11/20					3
学習支援委員会	4/24						10/9			1/22			3

※ 法人・施設連絡会 5/16、9/17、3/6

2-(5) 関係機関との連絡会議等の状況

日 時	機 関 名	参加職員	会 議 の 内 容
随 時	もりおかユースポート	関係職員	卒園児の情報交換
〃	里親支援事業	関係職員	令和6年度里親制度普及啓発事業
〃	山目小学校との連絡会	関係職員	在学児の情報交換
〃	磐井中学校との連絡会	関係職員	在学児の情報交換
〃	花泉高等学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関工業高等学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関清明支援学校	関係職員	在学児の情報交換
〃	一関児童相談所	関係職員	在園児童の情報交換など
〃	岩手県福祉総合相談センター	関係職員	〃
〃	宮古児童相談所	関係職員	〃
〃	いちのせき若者サポートステーション	関係職員	入所児の自立支援
〃	一関市社会福祉協議会	関係職員	入所児・卒園生の支援
年3回	山目小学校学校運営支援協議会	1	学校運営に関する助言等
年1回	一関市要対協代表者会議	1	一関市要保護児童の状況等について
年4回	一関市要対協実務者会議	1	一関市要保護児童の状況等について
年4回	一関地区障害者地域自立支援協議会	1	こども部会としての活動
年3回	岩養協幹事会	2	
年2回	児童協専門委員会	1	
年2回	一関市地域福祉計画推進会議	1	一関市地域福祉計画に意見や要望

2-⑥ 一時保護委託・子育て支援事業の利用状況

事業名	利用家族数	利用人数	利用延べ日数	事業内容
一時保護委託	7 家庭	8 名	560 日	児童相談所からの一時保護委託
ショートステイ事業	5 家庭	9 名	27 日	短期間の宿泊を含む養育支援
トワイライト事業	1 家庭	3 名	3 日	一定時間の預かり

※ショートステイ事業及びトワイライト事業の内訳は一関市から 4 家庭 奥州市から 2 家庭

2-⑦ 要望等解決事業の状況

要望・苦情内容	申 立 人					第三者への申立て
	小学生	中学生	高校生	その他	計	
他児への苦情・要望	2				2	0
設備等への苦情・要望						
職員への苦情・要望				1	1	0
養育・食事に対する苦情・要望						
家族からの苦情・要望						
計	2			1	3	0

2-⑧ 要望ノートの状況

件 数	R 6 年度	R 5 年度	R 4 年度	R 3 年度	備 考
要望受付件数	1,664	1,782	885	894	物品の購入やどこかへ行きたい等の要望が多くありました。
解決済件数	1,454	1,645	781	814	
検討中	140	51	30	13	
解決が困難	17	9	16	12	
つぶやき	53	77	58	22	

※ 要望ノートは、日常生活の会話の中で児童が呟いた言葉や要望を職員が書き留めたもの。

2-⑨ 情報公開の状況

情報公開ツール	内 容	部 数
広報誌 いちのせき藤の園 2024 年 6 月号	理事長あいさつ、ホーム紹介、新入学・入園、新任職員紹介、コロナ関連など	500
広報誌 いちのせき藤の園 2024 年 9 月号	園長所感、行事、令和 5 年度事業報告・決算報告、令和 6 年度事業計画など	500
広報誌 いちのせき藤の園 2025 年 1 月号	園長所感、行事紹介など	500
ホームページ (www.fujinosono.or.jp)	施設概要、令和 5 年度事業及び決算報告 令和 6 年度事業計画 行事等の投稿	随 時

2-10) 実習生の受入状況

学 校 名	人数	実 習 期 間	実 習 内 容
専修大学北上福祉教育専門学校	2人 2人 2人 2人	5月7日～5月16日 5月27日～6月5日 12月9日～12月18日 1月6日～1月15日	《研修内容》 ・理事長講話 ・園長講話 ・児童援助技術の習得 ・施設見学 ・基本理念について ・児童福祉の動向について ・心理療法について ・ケースカンファレンス ・グループホーム見学 ・食育について ・家庭支援・里親について ・個別対応について ・安全委員会について ・看護師業務について など
仙台白百合女子大学	2人	5月13日～5月22日	
仙台医健スポーツ専門学校	1人	5月20日～5月29日	
仙台青葉短期大学	2人	5月27日～6月5日	
尚絅学院大学	2人	6月10日～6月19日	
東北福祉大学	3人	6月24日～7月3日	
修紅短期大学	4人	7月29日～8月7日	
	4人	8月19日～8月28日	
	4人	9月2日～9月11日	
宮城学院女子大学	1人	8月19日～8月28日	
聖和学園短期大学	1人	9月2日～9月5日	
		9月7日～9月12日	
宮城誠真短期大学	1人	9月17日～9月26日	
		9月28日～10月7日	
仙台幼児保育専門学校	1人	11月5日～11月14日	
石巻専修大学	1人	2月3日～2月12日	
合計	受入校 12 校	35 人	

2-11) ボランティアの受入状況（敬称略）

日 時	団体(個人)名	人数	活 動 内 容
年 間	高橋 竜	1	散髪
年 間	菅原 英雄	1	野菜の寄贈 ブルーベリーの収穫体験
年 間	槻山 勝宏	1	花の提供
年 間	中村 良子	1	子どもとの関わり
年 間	高橋 洋・いずみ（里親）	2	子どもとの関わり
年 間	山崎哲弥（里親）	2	子どもとの関わり
年 間	あべ政サイクル	1	自転車の修理
年 間	島田 恵子	1	食品の寄贈
年 間	セブンイレブン中里店		年間を通しての食べ物の支援
年 間	伊藤 勝利		段ボールの回収
年 間	パーラーJ遊・ウインズ一関		定期的なお菓子の寄贈
年 間	JAいわて平泉		米、野菜・果物等の寄贈
年 間	NPO 法人ハートアライズ		卒園生への日用品や食品のふるさと便
4.7	日本観光アセットマネジメント		温泉入浴と昼食の招待
8.13	(株) 北都高速運輸倉庫		卒園生との野球大会、BBQ の食材の提供
8.10～14	NPO 法人みらいの森		サマーキャンプ招待
8.20	東横 INN 一ノ関駅前		ピアノとヴァイオリンの演奏会
8.23	一関中央ライオンズクラブ		第41回夏祭りの広場の開催
8.24	(株) 東横イン	2	ヴァイオリンとピアノのコンサート
9.28	BBQ 大会の開催	21	オフィースケイ、プーシェル、ヨコレイ関係者

※ 令和6年度の食料品、衣類、文具等の物品の支援件数は年間169件

2-12) 安全・安心を高める取り組み

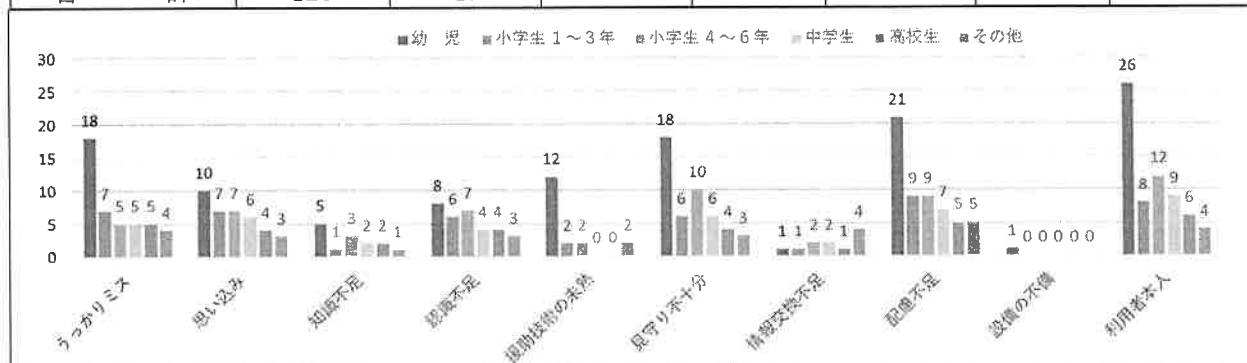
項 目	内 容
感染症対策	感染症対策委員会が中心になり、新型コロナウイルスやインフルエンザの感染予防の他、種々の予防接種を奨励し実施しました。
避難訓練	毎月、地震や火災を想定した消火訓練、避難訓練を実施しました。
職員非常連絡通報訓練	非常事態を想定して連絡体制の確認の訓練を実施しました。
施設内外の危険箇所の点検	毎月1回、リスクマネジメント委員会による施設内外の危険箇所を点検し安全対策を講じました。
自転車の点検	4月に自転車の点検を行い、不具合があれば修理しました。
遊具の安全点検	毎月、リスクマネジメント委員会による遊具の安全確認を実施するとともに年1回、専門業者による遊具の安全点検を行いました。
非常食の備蓄	災害時に備え、非常食の備蓄を行いました。(120人分×3日分)
災害時の備品等の購入	災害時等に備え乾電池、救急セット等を購入しました。 感染症対策としてパーテーション、対策用品を購入しました。
マニュアル等の見直し	防災関係のマニュアルをはじめ災害時の安否確認方法や連絡網の整備を行いました。

2-13) 避難訓練の実施状況

月 日	想 定	参加者	目 的
R6. 4. 30	調理室からの火災	36 名	避難経路と幼児介助及び職員の役割確認 幼児介助のメンバーを確認する
R6. 5. 22	震度 5 弱の地震 (余震あり)	44 名	職員の指示に従って落ち着いて避難行動ができる。
R6. 6. 24	機械室からの出火	21 名	放送の指示に注意し、その後の行動がとれる。
R6. 7. 26	地震により調理室からの出火	39 名	自衛消防組織を中心として、それぞれの役割及び正確な避難行動の方法を確認する。
R6. 8. 25	西側ユニットからの出火 (ミカエルホーム)	40 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
R6. 9. 24	アフターホームからの火災 (アントニーホーム)	39 名	外部建物火災のため出火状況を確認し適切な避難行動と初期消火活動ができる。
R6. 10. 23	心理棟 (マリア院) からの出火	29 名	避難経路を確認しながら、速やかに避難行動ができる。
R6. 11. 18	親子訓練室からの出火	44 名	避難経路を確認しながら速やかに避難、行動が出来る。
R6. 12. 15	西側ユニット(ガブリエル)で 調理中に出火	43 名	正確に出火場所を確認し適切な幼児の介助が出来る。
R6. 11. 29	東側ユニット(テレサ)からの 出火	37 名	身の安全確保を最優先に行う。通報マニュアルに従い正確に通報することができる。
R7. 02. 22	震度 5 弱の地震	49 名	避難経路を確認しながら速やかに幼児部の介助を行うことができる。
R7. 03. 04	地震から火災が発生	48 名	一年間の反省を踏まえた総合避難訓練

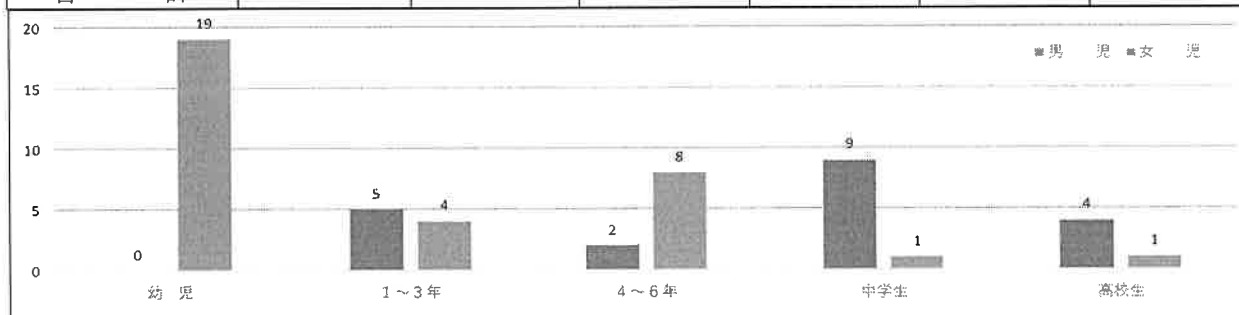
2-14) ヒヤリ・ハットの状況 (事故・怪我含む 延べ人数)

分類	対象児	幼 児	小学生 1～3年	小学生 4～6年	中学生	高校生	その他	合 計
うっかりミス		18	7	5	5	5	4	44
思い込み		10	7	7	6	4	3	37
知識不足		5	1	3	2	2	1	14
認識不足		8	6	7	4	4	3	32
援助技術の未熟		12	2	2	0	0	2	18
見守り不十分		18	6	10	6	4	3	47
情報交換不足		1	1	2	2	1	4	11
配慮不足		21	9	9	7	5	5	56
設備の不備		1	0	0	0	0	0	1
利用者本人		26	8	12	9	6	4	65
合 計		120	47	57	41	31	29	325



2-15) ヒヤリ・ハット (学年・男女別)

	幼 児	小学生 1～3年	小学生 4～6年	中学生	高校生	合 計
男 児	0	5	2	9	4	20
女 児	19	4	8	1	1	33
合 計	19	9	10	10	5	53



【考 察】

令和6年度は65件と昨年度よりも少ない件数となりました。内容としては服薬に関してのヒヤリ・ハットが49.2%と全体の5割を占めています。服薬をしている児童が多く各ホームでの服薬の見守りと処方時間について改めて見直す必要があります。また、服薬管理は本園の6ホームは看護師、地域小規模施設のマリアホームはホーム職員が行っていますが各ホーム職員の2重確認と服薬直前の確認を強化する必要があります。

分類分けではヒヤリ・ハットが年間65件ですが様々な要因が重なっており延件数が325件となっています。「うっかりミス」「思い込み」「認識不足」「見守りの不十分」「配慮不足」の件数が多く、子どもの要因もありますが職員の日々の養育内容の振り返りと見直しが必要です。

3 養育関係

3-1) 【令和6年度の養育関係の総括】

令和6年度は入所現員が38名からのスタートでした。期間中の入所児童はゼロ。退所児童は8名でした。入退所の動きが少なかったこともあり入所している児童の安定を図りながら養育の質の向上に努めました。ただし、退所した児童の中には、高校を自主退学した児童や卒業できても就職に結びつかなかったケースもあることから高校進学先や退所後の進路について早い段階から個別支援計画やその支援方法、実施状況等について将来を見据えた支援の充実が必要だと考えています。高校を卒業した児童の進路については、児童相談所や就労支援事業所、自立支援事業所等の関係機関との協力による本人の希望する進路先を決定することができました。施設には、退所後のアフターケアを施設機能として位置づけされていることから更に退所後の支援の充実を図っていく必要があります。

日々の養育では、子どもたちの自主性を尊重した養育を心掛けました。子どもたちの「やりたい」、「やってみたい」という思いにどう応えるか、その判断基準は「子どもの最善の利益」であり安易に結論を出すのではなく、担当職員等との話し合いやその過程を大切にしながら養育を実践しています。部活動やスポーツ少年団活動等への加入、ボランティア活動、ホーム行事や全体での行事を含めて子どもの自主性を育む養育に努めました。

入所児童数は、直近3年間を見るとほぼ横ばいで推移しています。一方、一時保護やショートステイの打診が増加しています。一時保護については長期化傾向にあり入所に至らなくても施設を利用するケースがあります。また、家庭復帰を目指す児童についても家庭環境の変化や複雑化により家庭復帰が進まないケースもあります。ショートステイ等については、いずれ利用の可能性もあるとのことで施設見学を実施するケースが増えています。

施設としては、社会的養護を必要とする家庭や児童に対して、その受け皿として様々な形で応えていく必要があり、その体制整備を図っていきたいと考えています。

3-2) ユニットの編成（令和7年3月1日現在：一時保護含む）

区 分	ホーム名	対象児	居室児童数		
			男	女	計
本 園（小グループケア）	ミカエルホーム	学 童	6	0	6
〃	フランシスコホーム	学 童	6	0	6
〃	ガブリエルホーム	幼児・学童	0	6	6
〃	ルカホーム	学 童	0	5	5
〃	ラファエルホーム	幼児・学童	0	5	5
〃	テレサホーム	幼児・学童	0	5	5
地域小規模児童養護施設	マリアホーム	学 童	5	0	5
合 計			17	21	38

3-③ 令和6年度の養育関係重点施策の自己評価

	重点施策項目	具体的な成果や問題点・課題
1	養育支援の見直しと 基本的生活習慣の涵養	幼児から高校生までの縦割りのホーム編成となることから起床から就寝までの生活について見直しを行いました。また、衣食住を基本とした基本的生活習慣を身に付けることの重要性を認識し支援を行いました。 児童一人ひとりを良く知ることが養育の基本であり支援内容を高めていくことにつながることから、日々の生活を丁寧に営んでいくように心掛けています。
2	自立支援の充実と個別化	児童一人ひとりの成長に合わせた自立支援計画を作成し将来を見据えた支援を行っています。特に、退所を控えた児童については進路相談をはじめ自活生活体験、就労支援事業所等との連携、奨学金や貸付金の情報提供や申請、自動車免許の取得の奨励と取得後の自立支援寄附金の給付を行いました。 また、個別での関わりを意識した支援と委託職員2名による1対1での個別対応を実施しました。
3	学習支援体制の充実と 早期の進路選択	小学生は水曜日から金曜日までの3日間、元教員2名による学習会を実施しました。また、希望する小中学生は、SBI 希望財団の助成により公文教室の英語学習に通塾しました。その他、学校で実施される各種検定試験等にも積極的に受験するように奨励しています。 課題としては、中高生の学習支援体制が十分とは言えず、中高生の支援体制を充実させていきたいと考えています。
4	情報の共有と 適正な記録・管理	情報を共有化することが業務の効率化や良い養育支援につながることを意識し業務を進めました。朝会での情報共有とその記録をラインワークスによる情報の迅速化、共有化を図っています。また、報告・連絡・相談が機能するよう引継ぎ等を重視し遺漏のないように努めました。更に適正な記録と管理体制の整備を図り情報公開等にも対応できるように努めています。
5	児童の意見・意向を 尊重した養育	児童との関係性を大切にしながら児童の意見・意向を聞き取り行事等に反映させています。各行事等については自治会が主体となって企画するようにしています。日々の要望ノート取り組み、年2回の利用者アンケートや子ども給食委員会、毎月の職員と児童によるホーム会議を活用して児童の意見や要望に丁寧に応えていく体制を整備しています。
6	入所前から退園後の支援 体制の仕組み作り	施設を利用する前の児童や保護者に対しては入所前の施設見学を奨励し不安を少なくし新しい生活をイメージできるようにしています。また、入所時にも施設が提供するサービスについて「施設利用説明書」をもとに説明し同意を得ています。 課題としては、退所前のリービングケアと退所後のアフターケアについて施設として統一した基本方針や実施要項を作成していないため作成する必要があると考えています。

3-4) 自治会の開催状況

実施日	参加児童	参加職員	会 議 内 容
R 6 . 4 . 6	19	4	・園遊会について（園遊会の出店・係決め） ・転地養護について（開催日程、場所決め）
R 6 . 5 . 11	17	5	・園遊会の売上金の使途について ・転地養護について ・携帯電話について
R 6 . 7 . 13	17	3	・転地養護について ・ライオンズ夏祭り、丸山さんＢＢＱについて ・夏休みの生活について
R 6 . 9 . 7	16	3	・ライオンズ夏祭り反省 ・丸山さんＢＢＱについて ・ＢＢＳ球技大会について ・運動会について ・生活のルール、マナーについて
R 7 . 1 . 25	16	2	・冬休みの振り返りについて ・３送会について ・令和７年度新自治会役員選出について ・インターネット等メディアについて ・食事について
R 7 . 2 . 23	21	2	・新中学生５名より自己紹介 ・令和７年度新自治会役員選出について ・３送会について ・高校３年生５名から一言

3-5) 自立生活訓練の状況

実施期間	対象児	内 容	場 所	期 間
R 6 . 3 . 1 ～ 4 . 2	短大１年女児	一定の生活費による生活訓練	ヨ ゼ フ寮	33 日間
R 6 . 7 . 8 ～ 7 . 22	措置延長女児	〃	アントニーホーム	15 日間
R 6 . 7 . 17 ～ 7 . 20	高校３年女児	〃	ヨ ゼ フ寮	4 日間
R 6 . 11 . 7 ～ 11 . 30	措置延長女児	〃	アントニーホーム	24 日間
R 6 . 11 . 9	高校１年女児	〃	ヨ ゼ フ寮	1 日間
R 6 . 11 . 11 ～ 11 . 14	高校３年女児	〃	〃	4 日間
R 6 . 11 . 14 ～ 11 . 23	高校３年女児	〃	〃	11 日間
R 6 . 12 . 1 ～ 12 . 7	高校３年男児	〃	〃	7 日間
R 7 . 1 . 25 ～ 2 . 9	高校３年女児	〃	〃	17 日間
R 7 . 2 . 17 ～ 2 . 20	高校３年男児	〃	〃	4 日間
R 7 . 3 . 3 ～ 3 . 10	高校３年男児	〃	〃	8 日間
R 7 . 3 . 10 ～ 3 . 16	高校２年男児	〃	〃	7 日間
R 7 . 3 . 26 ～ 3 . 27	高校１年女児	〃	〃	2 日間

3-6) 家庭支援（アフターケア）の状況

項 目	内 容
家庭訪問	家庭復帰後のアフターケアとして家庭訪問を実施
学校・幼稚園訪問	家庭復帰後の学校での状況についての状況確認
相談支援	電話等にて状況確認、相談支援（全退園生対象）

3-(7) ホーム行事の状況

実施日	ホーム名	内 容
R6.5.5	テレサホーム	石巻市で映画鑑賞、買い物、昼食
R6.8.6	マリアホーム	仙台市内散策・買い物
R6.8.10	ガブリエルホーム	石巻市で映画鑑賞
R6.10.13	テレサホーム	宮城県利府町で買い物
R6.11.17	ラファエルホーム	宮城県利府町で映画鑑賞・買い物
R7.2.21～22	マリアホーム	花巻温泉宿泊。ラウンドワン
R7.3.20	フランシスコホーム	夕食会

※ その他に児童の誕生日に担当職員と誕生日外食を実施。

3-(8) 自主献立の実施状況

(回数)

ホーム名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ミカエルホーム		2		1	4	2		2				4	15
フランシスコホーム		2		1	4	2		2				4	15
ガブリエルホーム		2		1	4	2		2				4	15
ルカホーム	1	2		2	4	2		2				4	17
ラファエルホーム		2	1		4	2		2				4	15
テレサホーム		2		1	4	2		2				4	15
マリアホーム		2		1	4	2		2				4	15

※自主献立は、ホームの子どもたちの要望に応じて献立、買物、調理を行うこと。

3-(9) 行事食の状況

月	行 事	献 立 名
4月	入学式 入園式	油淋鶏 刺身 筑前煮 手作りゼリー
5月	憲法記念日 みどりの日 こどもの日 開園記念日	My サンド 焼き肉 オムライス フルーチェ お好み焼き 焼きそば アイス お赤飯 天ぷら 紅白大福
6月		手作りポテトコロッケ タコライス
7月	七夕 丑の日 海の日	七夕ロコモコ丼 フルーチェ うなぎ・つくね丼 あさり汁 すいか ガバオライス トマトスープ シーフードサラダ 手作りゼリー
8月	巻寿司の日 山の日 終戦記念日 ライオンズ夏祭り	手巻き寿司 みそ汁 漬物 手作りゼリー オムライス コンソメスープ 野菜サラダ カルピス ごはん あさり汁 天ぷら おひたし おはぎ おにぎり 豚汁
9月	防災の日(非常食) 敬老の日 秋分の日 手作りおやつ 十五夜 丸山さんバーベキュー	おにぎり 卵スープ いわし缶 フルーツ缶 飲料水 タコライス コンソメスープ とうもろこし 果物 はんぺんチーズフライ コンソメスープ 春雨サラダ ごま塩ポテト きなこプリン だんご 枝豆 栗 さつま芋 りんご ぶどう バーベキュー

月	行 事	献 立 名
10 月	藤の園運動会 スポーツの日 手作りおやつ	弁当 飲み物 刺身 根菜の炒めサラダ 白和え フルーツ カボチャのチーズケーキ
11 月	文化の日 勤労感謝の日	お好み焼き 焼きそば フルーチェ ロコモコ丼 クラムチャウダー フルーツヨーグルト 手作りカボチャコロッケ
12 月	サンタニコラオ 冬 至 藤の園クリスマス会 クリスマスイブ 子どものクリスマス会 大みそか	手作りクリスマスクッキー りんご フランスパン カボチャシチュー オードブル サンドイッチ フルーツ盛り合わせ ローストチキン ミネストローネ マッシュサラダ 付け合わせ野菜 ケーキ バイキング 手巻き寿司 すまし汁 年越しそば アイスケーキ
1 月	お正月 七草 鏡開き 成人の日	雑煮餅 大根なます 黒豆 伊達巻 紅白かまぼこ 栗きんとん すき焼き鍋 等 七草おにぎり もち ひきな汁 ちらし寿司 あさり汁 浅漬け フルーツゼリー
2 月	節 分 鍋の日 建国記念の日 天皇誕生日 卒園生希望献立	恵方巻き つみれ汁 茶碗蒸し 豆まき(落花生) ご飯 寄せ鍋 ミックスフルーツ お赤飯 すまし汁 刺身 鶏肉蓮根炒め 浅漬け ミートスパゲティ コンソメスープ フルーツ杏仁豆腐 チキン南蛮(手作りタルタル) せんべい汁 とんかつ 唐揚げ タコとポテトのガーリック炒め 手作りホワイトソースのマカロニグラタン
3 月	三送会 ひな祭り 卒業式 卒園式 東日本大震災の日	バイキング ちらし寿司 しじみ汁 いか天 浅漬け 桜もち きのこおこわ すまし汁 天ぷら 浅漬け 焼き鳥缶 サバ缶とキャベツの手作り春巻き フルーツポンチ(非常食)

3-10 機能強化推進対象事業の状況

実施日	事業名	名 称	内 容
年 間	心身機能低下防止事業	食育（野菜の栽培）	食育の一環として、近隣の畑を借りて野菜を栽培しました。
年 間	〃	スポーツ少年団の活動	年間を通して地域のスポーツ少年団に入団し保護者会等の連携を図りました。
年 間	〃	ユニット行事（自主献立）	自主献立にして食事を作る。またテイクアウトを含めて外食を利用する。
年 間	総合防災対策強化事業	非常食の備蓄・感染症対策	非常食の備蓄（120人×3日間） 備品等の購入

3-11) 健康保健・性教育・防犯に関する活動状況

実施日	活 動 内 容	参加人数
R6. 7. 26	プライベートゾーンのルール (いいタッチ・わるいタッチについて)	幼児3名 小学生男子5名 小学生女子10名
R6. 11. 13	CAP ワークショップ (職員対象)	職員4名
R6. 12. 26～27	CAP ワークショップ (小学生低学年対象)	小学生9名
R7. 1. 8～9	CAP ワークショップ (小学生高学年対象)	小学生5名

3-12) 世代間交流

実施日	活 動 内 容	参加人数
R6. 11	特別養護老人ホームプレゼント交流 感染予防のため訪問せず、児童が作成したプレゼントを贈りました。	

3-13) 民区・地域との交流の状況

日 時	内 容	備 考
年2回	市内一斉清掃	子どもと職員が参加
7月	一関市夏祭り太鼓の練習	一関市の夏まつりに向けて体育館で太鼓の練習
7月	民区子ども会ラジオ体操	民区行事としてラジオ体操に参加
年間	スポーツ少年団活動	地域のサッカー、バトミントンスポーツ少年団に参加

3-14) 親子訓練室 (ヨゼフ寮・アントニーホーム) の利用状況

摘 要	延人数他	場 所	内 容
自立生活体験	15名	ヨゼフホーム	一定の生活費で生活する体験
〃	1名	アントニーホーム	一定の生活費で生活する体験
家 族 交 流	4組7回	ヨゼフホーム	在園児と日帰りや宿泊行い親子間交流
卒 園 生	14名	ヨゼフホーム	卒園生が宿泊に利用
〃	1名	アントニーホーム	男子卒園生がお盆期間中に宿泊

3-15) 学習支援の状況

対象児童	内 容
小学生	元教員による個別学習を水曜日から金曜日までの3日間実施 公文式学習塾 (英語) の利用

3-16) 個別対応の状況

対象児童	支 援 内 容	回数
小学生～高校生	平日週1回、14時～18時の時間帯で児童との個別の時間を設け、 児童の会話、ごっこ遊びなどの個別対応を実施する。	99
小学生	平日週2回、13時～18時の時間帯で個別対応を実施する。 ホームでの対応70回 個別対応19回	89

3-⑴ 病院受診の状況（延べ人数）

受診科	内 訳							合 計
内 科 小児科	発 熱 風 邪	腹 痛 下 痢	便秘	吐き気 嘔 吐	高血圧	肥 満 資質異常	その他	92
	4	0	44	5	9	18	12	
耳鼻科	鼻炎・花粉症		鼻汁・鼻閉感		外・内耳炎		その他	9
	0		9		0		0	
皮膚科	ニキビ	イボ	湿疹・蕁麻疹・薬疹		アトピー 性皮膚炎	アレルギー	その他	128
	39	6	7		14	44	18	
呼吸器科	喘息			睡眠時無呼吸症候群			その他	16
	5			11			0	
泌尿器科	夜尿症			水腎症			その他	11
	10			1			0	
婦人科	生理不順		PMS		妊娠・性病検査他		その他	37
	30		1		3		3	
歯 科	虫歯（治療・進行止め）			抜歯			その他	30
	30			0			0	
眼 科	眼鏡・コンタクト			麦粒腫・結膜炎			その他	4
	1			3			0	
外 科 整形外科	骨折・捻挫・打撲・打ち身		外傷		リハビリ		その他	47
	28		0		11		8	
精神科	ASD	ADHD	強迫性障害	解離性 障害	情緒不安定		その他	154
	23	59	12	36	21		3	
感染症	風邪・発熱	扁桃腺炎	インフルエンザ	コロナ	ノロウイルス	溶連菌	マイコプラズマ	54
	25	1	3	4	1	2	8	
	肺炎	膀胱炎	ピロリ菌	手足口病	皮膚	口唇ヘルペス	その他	
	1	1	1	4	0	3	0	
ワクチン	日本脳炎	水痘	おたふく	MR	インフルエンザ	子宮頸がん	その他	64
	2	2	3	2	51	4	0	
検 診	幼児		歯科		眼科		その他	11
	2		2		4		3	
合 計								657

※ 1日平均1.8人

3-18 里親支援の実施状況

支援項目	内 容	実施状況
家庭支生活体験 (週末里親実施状況)	入所児童を週末及び長期休暇等の連続した休暇の期間等を利用して、委託家庭において家庭生活を体験させることにより社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立の促進を図った。	週末里親対象児童 5 名 17 歳女子 3 回 (8 日間) 高 2 男子 2 回 (4 日間) 小 6 男子 1 回 (1 日間) 小 6 女子 3 回 (3 日間) 年長女子 1 回 (2 日間)
里親家庭訪問・相談	管内里親宅訪問し養育に対する相談対応、意向、里専への要望等を伺う。また、委託中の里子との面会を実施し支援体制の構築を図る。	委託里親 (5 件、6 回) 未委託里親 (8 件、14 回)
児童相談所との連携	児童福祉司・里親担当と電話や面会で打ち合わせや里親対象児童についての協議等を行う。	随時
里親登録前・基礎実習の受入	里親登録希望者に施設職員講話、児童との関わり等、里親支援専門相談員作成のプログラムに沿って実施する。	基礎実習：3 名 登録前実習：2 名
各研修会・会議への参加	里親委託等推進委員会、里親支援専門相談員学習会等に参加し、他の里親支援専門相談員や関係機関との情報交換や里親支援業務の確認を行う。	年 26 回
養成校実習生への講話	実習中、里親制度、里親支援専門相談員の業務について講話を実施する。	年 12 校
里親制度普及啓発活動 (里親パネル展示、説明会等)	市役所、図書館、ショッピングセンター、保健センター等での里親制度普及啓発パネル展、説明会を実施する。	県内 21 か所
施設主催里親サロンの開催	施設主催の里親サロンを開催し、里親間、関係機関等との交流を図る。(年 3 回)	① 6 / 1 参加者 19 名 ② 7 / 6 参加者 19 名 ③ 11 / 9 参加者 17 名

3-19 夏季・冬季一時里親事業の実施状況

時 季	対象児童	期 間	日 数
夏 季	高校 2 年男子	8 月 10～11 日	2 日間
	通信高 2 年女子	8 月 5 日～7 日	3 日間
	小学 6 年女子	8 月 5 日	1 日間
	小学 6 年男子	8 月 2 日	1 日間
	小学 1 年女子	8 月 16 日	1 日間
	年長女子	8 月 12～13 日	2 日間
冬 季	小学 1 年女子	12 月 28 日～29 日	2 日間

4 人事・労務・人材育成関係

4-1(1) 【令和6年度人事・労務・人材育成の総括】

令和6年度は、年度当初に3名の学卒新職員（児童指導員1名、保育士2名）を採用し40名の職員でスタートしました。更に5月に保育士1名、6月に看護師1名を採用し職員の確保に努めました。しかし、4月に1名の保育士と栄養士、12月に保育士1名、2月に児童指導員（パート）1名、3月に保育士1名と事務員1名が退職しました。1名が育児休業中であり3月末の時点で38名の職員体制となりました。年間を通して募集をしています、応募がない状態が続いています。特に栄養士が不在の状態が続いており、給食職員5名のところを2名で業務に当たっています。ユニットで調理をする機会が増えるなど直接処遇職員の負担も増えています。職員の確保と定着が近年の大きな課題であることから法人とも連携し職員体制の整備を図るとともに子育て中の職員に対しても規程等を改正し子育てしやすい環境整備に取り組みました。他に勤務時間の管理、給与等における処遇改善、健康診断の項目を増やすなどの施策に取り組みました。またメンタルヘルスケアについても悩みを抱え込まないように随時相談できる体制を調えています。

人材の育成については、OJTを基本としながらOFF-JTとしての園内研修の充実を図っています。職員の意向に沿って多様なテーマで研修することができました。また、1年目の職員については年間を通して基幹的職員がフォローアップ研修を行い業務の振り返りや気付きの機会にしています。外部研修については、コロナ禍前の研修に戻っていることから積極的に職員を派遣することができました。全国児童養護施設協議会やSBI子ども希望財団、子どもの虹情報研修センターが主催する研修会をはじめ、岩手県内の研修会にも職員を派遣しています。

課題としては、研修報告の機会や振り返りの時間を確保することや一人ひとりの職員の個別のスキルアップのための研修計画が未整備であることから個別研修計画の作成を次年度以降取り組んでいきます。

4-1(2) 令和6年度人事・労務・研修の重点施策の評価

	重点施策項目	具体的成果や課題
1	人材確保と職員の適正配置	5名を採用しましたが6名の職員が退職しました。1名は育児休業中。1名は新規事業のために異動しました。 加配職員を含めた人員計画のもと職員の確保に努め、長く勤めることが出来るよう労働環境の整備に取り組んでいきます。
2	業務内容の見直しと改善	職員のフォロー体制を見直しユニットのみで完結するのではなくフロア間で業務を分担するなど工夫しながら業務に当たりました。また、必要に応じて専門職や事務員がフォローに入るなど職員間の協力体制ができるようになってきました。
3	働きやすい職場の推進	若い職員が多いことから若い職員の意識・意向を汲み取りながら若い職員が働きやすい労働環境の整備を図っています。若い職員が意欲を持ち意見を出し合える職場となるように努めました。
4	職員の教育・研修の充実	外部研修については、階層別・職種別の研修会に積極的に職員を派遣することができました。また、自主的な若手職員による学習会を施設としても後押しすることができました。
5	メンタルヘルスの推進	若手職員に対しては定期的集まる機会を設けて悩み事や困ったことを話し合える場を設けました。一人で抱え込まないように日々の振り返りを行うチェックシートを活用しています。

4-③ 職員の状況（令和7年3月31日現在）

職 種	園 長	副 園 長	事 務 長	事 務 員	基 幹 的	指 導 員	保 育 士	栄 養 士	調 理 員	F S W	個 別	心 理	看 護 師	里 親	宿 直 員	合 計
正 職 員	1	1	1	2	1	6	13		3	(2)	(1)		1			29 (3)
嘱 託 職 員							2							1		3
パート職員							3								3	6
現 員 数	1	1	1	2	1	5	21	1	4	1	1	1	1	3		38 ※3

FSW 業務・副園長、基幹的職員兼務、個別対応職員・保育士兼務 調理員1名・育児休業中

○令和6年度採用者

- ・児童指導員 1名（正職：学卒：R6.4.1付）・保育士 2名（正職：学卒：R6.4.1付）
- ・保育士 1名（嘱託：中途：R6.5.1付）・看護師 1名（嘱託：中途：R6.6.1付）計5名

○令和6年度退職者

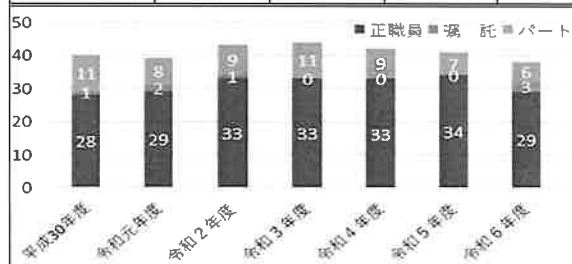
- ・保育士 1名（正職：R6.4.30付）・栄養士 1名（正職：R6.4.30付）
- ・保育士 1名（正職：R6.12.31付）・保育士 1名（正職：R7.3.31付）
- ・事務員 1名（正職：R7.3.31付）・児童指導員 1名（パート：R7.1.15付） 計6名

○令和6年度人事異動

- ・児童指導員 1名（正職：R7.2.1付：第三の居場所「ういすてりあ」へ）

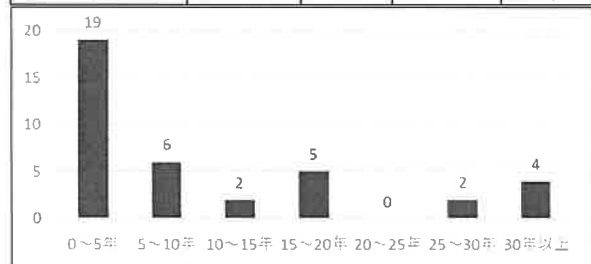
4-④ 職員数の推移（令和7年3月31日現在）

年 度	正職員	嘱 託	パート	計
令和6年度	29	3	6	38
令和5年度	34	0	7	41
令和4年度	33	0	9	42
令和3年度	33	0	11	44
令和2年度	33	1	9	43
令和元年度	29	2	8	39
平成30年度	28	1	11	40



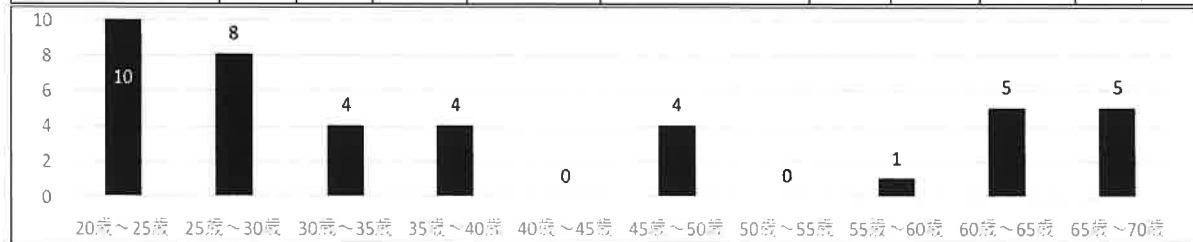
4-⑤ 職員の経験年数（令和7年3月31日現在）

経験年数	男	女	計	率
0 ～ 5 年	7	12	19	50%
5 ～ 10 年	2	4	6	16%
10 ～ 15 年	2	0	2	5%
15 ～ 20 年	1	4	5	13%
20 ～ 25 年	0	0	0	0%
25 ～ 30 年	1	1	2	5%
30 年以上	1	3	4	11%



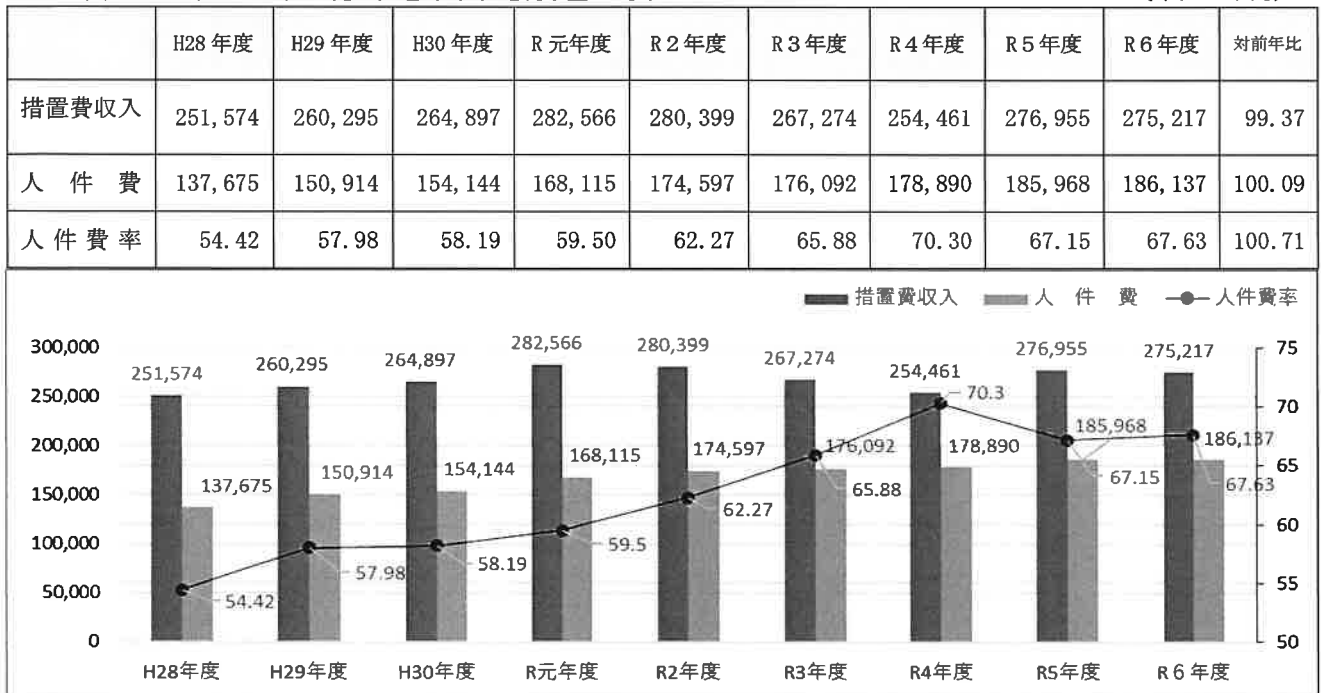
4-⑥ 職員の年齢別内訳

年 代	男	女	計	率	年 代	男	女	計	率
20 歳～25 歳	5	5	10	24%	45 歳～50 歳	0	4	4	10%
25 歳～30 歳	2	6	8	20%	50 歳～55 歳	0	0	0	0%
30 歳～35 歳	3	1	4	10%	55 歳～60 歳	0	1	1	2%
35 歳～40 歳	1	3	4	10%	60 歳～65 歳	2	3	5	12%
40 歳～45 歳	0	0	0	0%	65 歳～70 歳	3	2	5	12%



4-(7) 人件費の推移（事業活動収支計算書より）

（単位：千円）



4-(8) 内部研修の状況

日 時	研 修 名	参加者	研 修 内 容
R6. 3月～ R7. 3月	新任職員研修 (園長、副園長、基幹的職員等)	4	新任職員を対象に基本理念、養育、職員としての基本的な事項について理解を深める研修を実施。
R6. 5.29	福祉サービス第三者評価 自己評価	24	内容評価項目についてグループごとに自己評価委を行い今後の取組等について話し合いました。
R6. 5.29	養育の[食]に関して	27	食前準備から片付け、食事の環境、調理、献立、子どもたちの嗜好等食事に関わる様々なことについて現状と改善点等について話し合いました。
R6. 6.12	コンプライアンス研修	26	ハインリッヒの法則、ヒヤリ・ハット、虐待、SNSの危険性や個人情報、交通法規等について理解を深めました。
R6. 7.17	聖書研究 一関カトリック教会 渡邊神父様	28	ルカによる福音書から「見失った羊」のたとえ「放蕩息子」のたとえ、「善いサマリア人」の話がありました。
R6. 11.13	権利擁護について	24	いわてこどもけんりノートの読み込みとグループ討議。毎月のチェックリストの確認と共通理解
R6. 11.27	『私たちの意識下の中に眠るもの』	23	ラサール修道会修道院の佐藤守也神父様を招いて宗教観や人生論及び養育等についての講話。
R6. 12.18	乳がんセミナー	17	三井住友海上あいおい生命 菊池氏、高橋氏による乳がんについて理解を深めました。
R7. 1.22	依存症について	17	「スマホ・ゲーム・ネット等の依存症についての理解と支援への繋げ方について」の使用状況をグループで討議しました。
R7. 1.29	宿直や業務の引継ぎについて		業務手順書の確認や宿直時の留意点、引継ぎ時の内容等の確認を行いました。

※ Off-JTとして若手職員の自主的な学習会を実施しました。

※ 山梨県の地域総合子ども家庭センター・テラが主催する「子ども家庭ソーシャルワーク専門職養成研修（全10回開催）にオンラインにより受講しました。

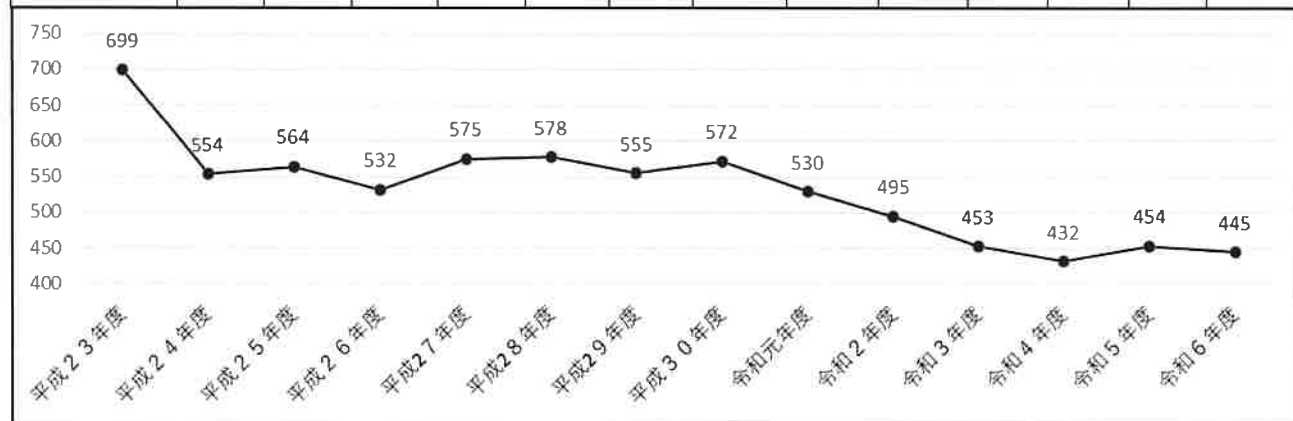
4-⑨ 外部研修の状況

日 時	研 修 名	主催団体名	開催場所	参加職員名
年 間	里親支援勉強会	岩養協	ZOOM 他	佐藤道
5.29～30	児童養護施設指導者研修	子ども虹情報研修センター	ライブ配信	千葉麻
6.20～21	東北 B 児童養護施設研修会	東北 B 児童協	山形市	渡部 他 2 名
7. 4	あんしんサポート相談員養成研修	岩手県経営協	盛岡市	遠藤玄
7. 4	児童福祉施設・児童相談所交流研修	岩手県福祉総合相談センター	盛岡市	千葉美 他 2 名
7.16	子ども第三の居場所研修会	B & G 財団	オンライン	小野寺雄
9.5～6	日本カトリック児童施設全国会議	日本カトリック協会	神戸市	千葉美
9.11～12	児童養護施設指導者研修	子どもの虹情報研修センター	横浜市	千葉麻
9.11	児童福祉施設・児童相談所交流研修	一関児童相談所	一関市	遠藤玄 他 2 名
9.12	防火管理者講習会	日本防火・防災協会		渡邊 他 1 名
9.13	SBI ブロック別リーダー研修	S B I 子ども希望財団	ZOOM	遠藤 小野寺 後藤
9.19～20	東北 B 児童養護施設新任職員研修会	東北 B 児童協	福島市	畠山
9.27～28	災害派遣福祉チーム登録研修	岩手県災害福祉広域支援推進機構	盛岡市	吉田
10.9～10	事務福利厚生部県外施設研修会	岩養協	福島県	佐藤麻 他 3 名
10.10	岩手県児童相談所職員等研修会	岩手県福祉総合相談センター	盛岡市	千葉美他 3 名
10.10	児童養護施設等基幹的職員研修	岩手県	盛岡市	小野寺 高橋
10.11	全国若者自立支援プロジェクト	東京ボランティア・市民活動 S	仙台市	後藤
10.16	日本カトリック東北 B 施設長研修会	日本カトリック協会	仙台市	渡部
10.17～18	日本カトリック東北 B 職員研修会	日本カトリック協会	仙台市	渡部他 2 名
10.22～24	全国児童養護施設長研修	全国児童養護施設協議会	金沢市	渡部
10.30～31	新任職員研修	岩手県社会福祉事業団	盛岡市	遠藤美、及川
11.1～2	災害派遣福祉チームスキルアップ研修	岩手県災害福祉広域支援推進機構	盛岡市	吉田
11.8	子ども第三の居場所フォローアップ研修	B & G 財団	オンライン	小野寺雄
11.12	東北 B 児童養護施設研修会	全国児童養護施設協議会	盛岡市	渡部、後藤
11.14～15	安全委員会全国大会	安全委員会全国協議会	千葉市	千葉奨、吉田
12.6	岩手県児童福祉施設等職員向け 児童虐待対応研修	岩手県	盛岡市	菅原
12.16	児童養護施設等基幹的職員研修	岩手県	盛岡市	小野寺 高橋
1.15	児童養護施設等基幹的職員研修	岩手県	盛岡市	小野寺 高橋
1.21	児童養護施設等基幹的職員研修	岩手県	盛岡市	小野寺 高橋
1.21～22	東北 B 児童養護施設長研修会	東北 B 児童協	盛岡市	渡部
2.13	児童養護施設協議会 全体研修会	岩養協	盛岡市	渡部他 4 名

5 入所児童に関する統計

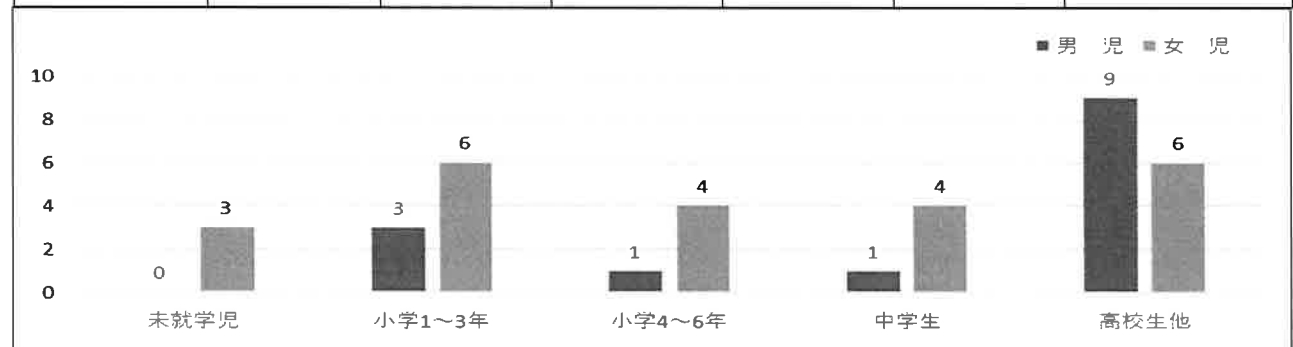
5-1) 初日在籍数

区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学児	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36
小学生	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	168
中学生	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
高校生他	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	181
計	38	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	37	445



5-2) 学年別の内訳（令和7年3月1日現在）

	未就学児	小学1～3年	小学4～6年	中学生	高校生他	計
男 児	0	3	1	1	9	14
女 児	3	6	4	4	6	23
計	3	9	5	5	15	37
率	8.1	24.3	13.5	13.5	40.6	100.0

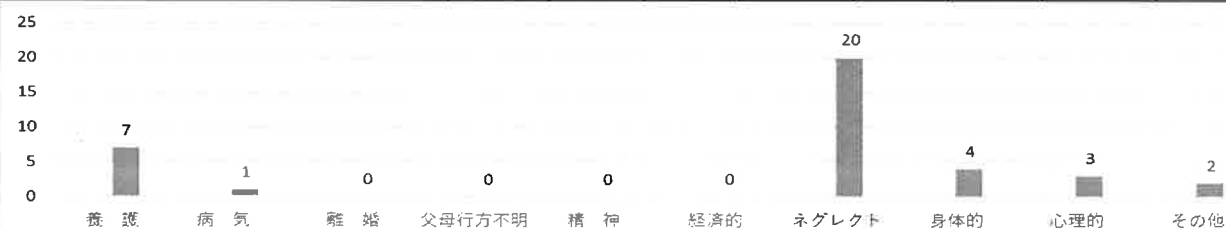


《在籍高校名》

一関第二高等学校 一関工業高等学校 花泉高等学校 水沢農業高等学校

5-③ 入所原因別内訳（令和7年3月1日現在）

理 由	養 護	病 気	離 婚	父母行方不明	精 神 障 害	経済的破綻	ネグレクト	身体的虐待	心理的虐待	その他	計
児童数	7	1	0	0	0	0	20	4	3	2	37
比 率	18.9	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	54.1	10.8	8.1	5.4	100.0



5-④ 入所退所の状況

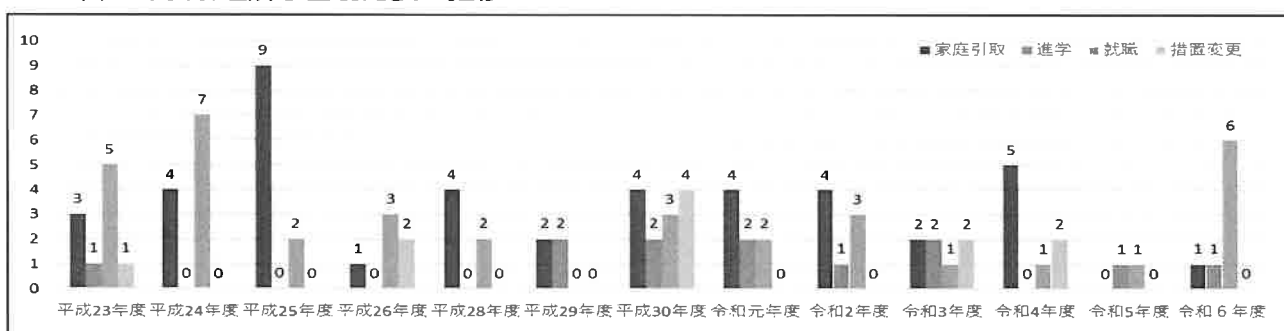
区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退 所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	8

5-⑤ 退所原因別内訳（令和7年3月31日現在）

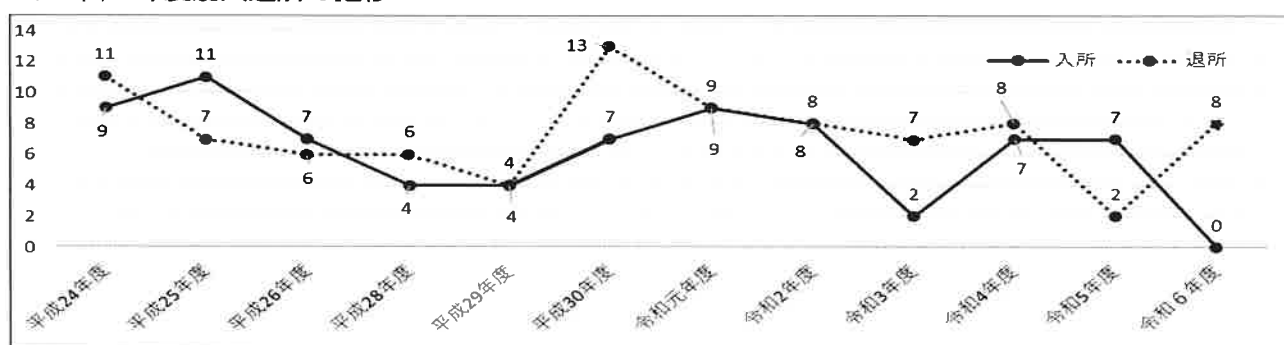
理 由	家庭引取	進 学	就 職	措置変更	計
児童数	1	1	6	0	8

※進学者1名は自立援助ホーム利用により措置変更

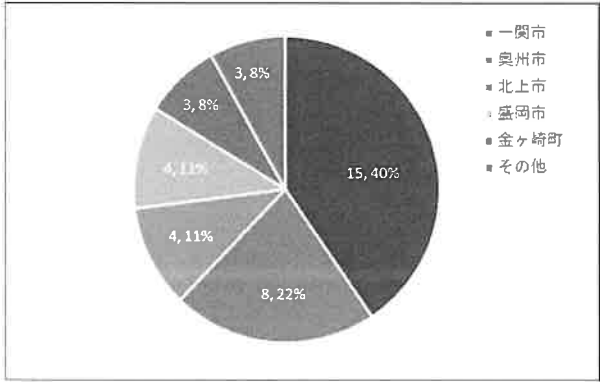
5-⑥ 年度別退所原因別内訳の推移



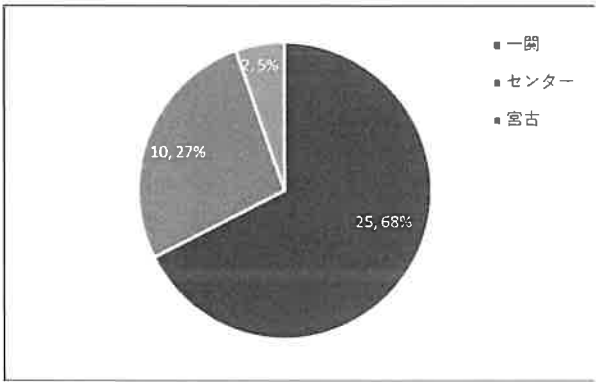
5-⑦ 年度別入退所の推移



5－(8) 入所時住所・児相別内訳（令和7年3月1日現在）

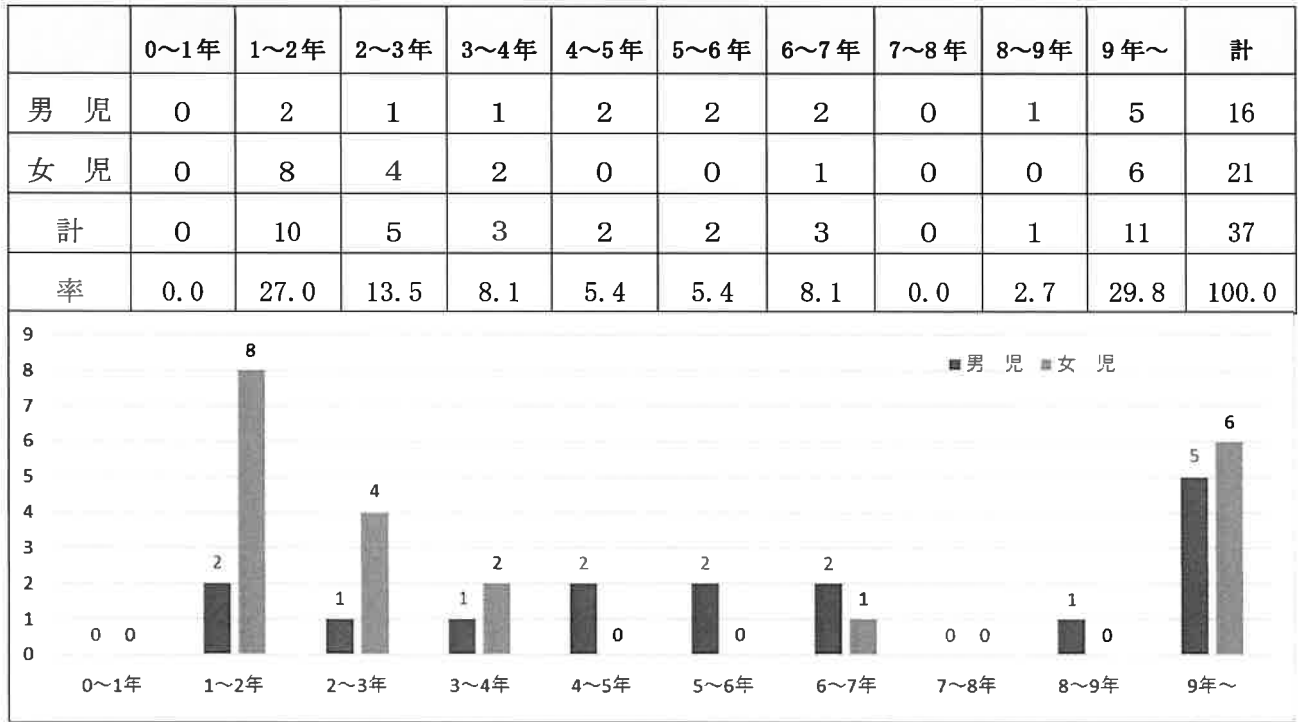


【入所時住所内訳】



【児童相談所別内訳】

5－(9) 在園期間の内訳（令和7年3月1日現在）



6 設備・修繕・保守の状況

6-(1) 固定資産関係

(単位：円)

取得年月	資 産 名	数量	取得価格	勘定科目	業 者 名
R7.3.31	土地(一関市山目字前田70-1) 宅地1筆884.63㎡	1	29,860,000	土 地	(株)平野組
R6.6.13	マリア院給湯設備工事	1	440,000	建 物	カメイ(株)
R6.10.24	ソリオ 平泉500た・・23	1	1,903,820	車両運搬具	旭自動車工業(株)
R6.5.30	厨房エアコン増設工事	1	900,000	器具及び備品	大成温調(株)
R6.6.7	パソコン更新	4	585,200	器具及び備品	エクナ(株)
R6.11.28	パソコン更新	10	1,738,000	器具及び備品	エクナ(株)
R6.11.15	厨房 フードプロセッサー	1	110,000	器具及び備品	カメイ(株)

6-(2) 主な修繕・修理・消耗品関係

(単位：円)

年 月	修理・修繕名	支出額	勘定科目	業 者 名
R6.11.5	厨房冷蔵庫・冷凍庫ゴムパッキン交換	232,320	修繕費支出	日本調理機(株)
R7.3.14	厨房トイレ手洗器交換工事	88,000	〃	大成温調(株)
R6.7.12	ユニット職員室書棚・職員ロッカー購入	783,024	事務消耗品費支出	天童事務器
R6.8.15	ラインワークスライセンス年間保守料	267,300	〃	(株)ティーガイア
R6.11.26	スタットレスタイヤ(3台分)	245,080	車両費支出	タイヤ館
R6.11.26	厨房プレハブ冷蔵庫内エレクターシェルフ	127,050	消耗器具備品費支出	日本調理機(株)
R6.9.13	処遇用携帯電話7台	655,270	〃	NTT ドコモ
R6.8.30	草刈り機(2台)	89,500	〃	山一本店
年 間	車両関係車検・修理・消耗品他	464,181	車両費支出	旭自動車工業

6-(3) 設備保守関係

(単位：円)

年 月	保 守 点 検 名	業 者 名	備 考
毎 月	エレベーター保守点検	(株)日立ビルシステム東北支社	異常なし
毎 月	浄化槽保守点検	セレクトクリーン花泉(有)	〃
毎 月	監視システム契約料	セコム(株)	〃
年2回	消防機器設備保守点検	旭電通(株)	〃
	冷暖房等設備保守点検	大成温調(株)	〃
	ボイラー・給水・空調等保守点検	大成温調(株)	〃
	電気設備保守点検	東北電気保安協会	〃
	パソコンネットワーク保守他	エクナ(株)	〃
	各種ソフト保守料	エクナ(株)	〃
随 時	厨房機器	ホシザキ東北(株)	〃

令和 6 年度

3 事 業 報 告 書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ふじの園
認定こども園一関藤保育園

1. 認定こども園一関藤保育園基本理念・基本方針

◇社会福祉法人ふじの園基本理念・教育保育理念

『キリストの愛と光によって導かれた
子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

◇基本方針

キリスト教精神に基づき、可能性に満ちた一人ひとりの子どもたちは、より善いものを指向できる自由意志、美しい物に感動する豊かな感性を備えている。神から与えられたかけがえのない人格として受けとめ個々の与えられた内的、外的生命力を十分発揮できるように相互の人格を尊重し、他者の立場を理解し合うことにより、思いやりや豊かな社会性が身につくように育む。

◇事業目的

就学前の子どもに関する教育・保育等の総合的な提供の推進に関する法律に基づいて、心身ともに健やかに育成されるよう乳幼児期の教育、保育を行うほか、満3歳以上の子どもに対し、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に掲げる目標が達成されるよう教育を行うことを目的とする。

2. 施設運営関係

◎施設運営の総括

幼保連携型認定こども園事業費収入の幼稚園型預かり保育事業、延長保育事業は実施できたが障がい児保育事業対象児童がいなかったため実施の対象外となる。教育認定は幼稚園型預かり保育の新2号児と満3歳児対象児童で17名。保育認定児は88名。定員105名に対し充足率100%でスタートすることができた。運営費となる園児数による施設型給付費に、給付費等加算は基本加算部分の処遇改善Ⅰ・副園長配置・給食実施・副食費徴収免除（1号・2号児）、特定加算部分は療育支援・事務職員配置・処遇改善Ⅱ・冷暖房・栄養管理加算は年間を通じ加算された。処遇改善臨時特例交付金については年度末に加算となった。年長児と小学生の交流活動架け橋プロジェクトの実施により小学校接続加算と、新卒保育教諭2名採用で職員数が安定し3歳児クラス配置加算・学級編成調整加算が新たに対象になった。

コロナ禍より中止していた保護者参加の行事については4月に親子バス遠足を保護者の要望もあり年長児クラスの親子レクとして、大型バス1台にて目的地八木山動物公園に20組の親子、引率職員3名。

6月に0・1・2歳児クラスの保育参観を実施する。内容は親子でわらべ歌遊び、園での日常ビデオ上映会、栄養士による食事指導、給食参観。後日保護者からアンケート用

紙で感想など聞き取ることが出来た。園で実際子ども達がどのように過ごしているのか実際に見ることが出来満足の声が多かった。

コロナ後保護者不参加で実施していた夏祭りお楽しみ会も保護者参加で7月に開催。子ども達は浴衣や甚平姿で昔ながらのヨーヨーつりや、わなげ、くじ引きなどゲームを親子で楽しむことが出来た。給食担当が試食コーナーを設け、手作り黒糖ドーナツを提供する。

9月中旬開催の運動会は、前年度は園のグラウンドを会場にクラスごとで発表、有観客で実施したが、不安定な天候に振り回された事の反省を踏まえ、屋内開催とし南小学校体育館にて観客制限無にする。かなりの悪天候で体育館への出入りなど大変だったが予定を変更することなく、各クラス思考を凝らした競技やかわいい遊戯、白熱の紅白リレーなど発表することができた。昨年まで両親のみの観客だったが、制限をなくしたので祖父母の参加もあり、大勢の声援を受けながら子どもたちも楽しく元気に行事参加することが出来た。下旬には年少、年中、年長児の保護者対象に担任との個人面談を実施する。

10月には年中・年少児クラスの保育参観を計画し、朝のお集まりの様子や自由選択活動でモンテッソーリ教具を使つての活動、園生活ビデオ上映、戸外遊びの様子などを参観した。昼食は手作り弁当を親子で食べてとても楽しそうだった。

12月のクリスマスお遊戯会は例年土曜日に実施していたが、初めて平日金曜日の開催とした。未満児クラス、年少・年中クラス、年長の発表の3部構成で観客はその都度入れ替えすべてを午前中で実施。たくさんの観客が見守る中、聖劇やオペレッタ、お遊戯、合奏など年齢にあったテーマでかわいらしく発表することが出来た。

保護者参加の行事では、アンケートを実施する。意見や感想を直に聴く事が出来、次に生かした。

3. 入所児童関係

◎入所児童の総括

認定こども園に移行5年目になり、教育認定（1号認定）枠の利用が安定してきている。定員15名に対し17名（3歳児4名・4歳児7名・5歳児6名）保育認定（2号・3号認定）は90名定員に対して88名、計105名でのスタートとなる。保育ニーズの多い0歳児クラスは、定員5名のところ7名でスタートし6月に1名、3月に1名入園となり最終的に在籍9名となった。

◎年齢別入所状況

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳 児	5	6	6	7	7	7	8	8	8	8	8	9	87
1～2歳児	31	30	30	29	29	30	30	30	30	31	31	31	362
3歳児	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	312
4歳以上児	43	43	43	43	43	42	43	42	42	42	42	42	510
合 計	105	105	105	105	105	105	107	106	106	107	107	108	1271

◎入所児内容概略

① 組 別 編 成

(令和7年3月31日現在)

組 別	年 齢	人 数	保育教諭数
つぼみ組	0歳児	9	3
ちゅうりっぷ組	1歳児	16	3
たんぽぽ組	2 歳 児	15	3
もも組	3 歳 児	26	2
すみれ組	4 歳 児	23	2
ばら組	5 歳 児	19	3
合 計		108	16

② 年 齢 別 編 成

(令和6年4月1日)

組 別	男	女	計
0歳児	3	2	5
1歳児	10	6	16
2 歳 児	4	11	15
3 歳 児	14	12	26
4 歳 児	15	8	23
5 歳 児	12	8	20
合 計	58	47	105

③ 認 定 区 分

(令和6年4月1日)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
1号(教育認定)				4	7	6	17
2号(保育認定以上児)				22	16	14	52
3号(保育認定未満児)	5	16	15				36
合 計	5	16	15	26	23	20	105

4. 人事・人材育成関係

◎人事総括

新卒保育教諭2名採用し、職員23人体制でスタートする。保育教諭の数に余裕が出来た。3歳児クラスは新入児7名を迎え26名。新入の2名は家庭保育から、5名は小規模園からの転園となる。3歳児クラスの定員を超えての園児数を考慮し担任を4名配属する。

◎人材育成関係総括

県主催の研修には、7月のリーダー研修に主幹保育教諭、10月の新任職員研修に新卒採用職員2名を参加させる。一関保育協議会の分科会活動にも各分科会に分かれて職員が参加し研修することが出来た。モンテッソーリ教育の研修については、教育者養成コース卒職員が教具指導など園内研修でも指導しその都度職員が研修する。

キャリアアップ研修は、対象職員2名。保育教諭が障害児、乳幼児分野、調理員が食育・食物アレルギー分野をオンライン受講する。

実習生受け入れに関しては、4年制大学3校・短期大学1校の幼児教育学科の学生と中学生の職場体験事業は一関、一関東、桜町、附属中学校の4校、一関第二高等学校1年生のボランティア活動の受け入れ実施する。

◇採用者

菅 原 彩 (保育教諭)
前 田 祥 (保育教諭)

◇退職者

佐 藤 美 香 (保育教諭)
太 田 初 代 (看護師)

◎配属・クラス担任

(令和6年度)

配属・クラス名		人数	配属者名
園長		1	斎藤志華子
副園長		1	佐々木利恵
主幹保育教諭		1	佐藤宏美
つぼみ組	0歳児	3	森谷志織・小野寺彩幸・太田初代(看護師)
ちゅうりっぷ組	1歳児	3	菅原亜耶・菅原優奈・宮本香
たんぽぽ組	2歳児	3	千田美夕紀・菅原未歩・菅原彩
もも組	3歳児	4	千葉友子・小野寺萌・小野寺季楽・前田祥
すみれ組	4歳児	2	及川源一郎・石川京子(副主幹保育教諭)
ばら組	5歳児	1	佐藤美香
給食		3	佐藤美希・大沼向日葵(栄養士) 夏堀綾香(調理員)
事務		1	山田幸枝

◎職員研修

研修名	実施日	内容	参加者
園内研修	4月18日	「2024年度に向けて」	職員10名
	19日	～法人を取り巻く環境・運営方針～ 理事長	職員10名
	6月24日	「保育者の魔法の一言」 園長	職員10名
	7月10日	「コンプライアンス研修」 理事長	職員11名
	11日		職員12名
	7月22日	「園のリフレッシュ利用」 園長	職員9名
	8月21日	「物価高騰における園の現状」 園長	職員11名
モンテソーリ園内研修	11月22日	「クリスマスについて」 園長 ～待降節・新約聖書・旧約聖書 他～	新卒職員2名
	12月23日	「モンテソーリ教育」 園長	職員12名
モンテソーリ園内研修	第2・4水曜	「総合理論」「教具提供実践」	職員5名
保育協議会研修	5月24日	園長部会 一関保健センター	斎藤志華子
	11月27日	萩荘市民センター	佐々木利恵
	7月1日	マネジメント分科会 U ドーム	佐藤宏美
	1月15日		山田幸枝
	7月10日	ことば分科会 一関保健センター	佐藤美香
	11月6日	一関文化センター	菅原彩
	7月16日	表現分科会 山目市民センター	菅原未歩
	11月12日		前田祥
	7月18日	人間関係分科会 一関保健センター	及川源一郎
	1月8日		小野寺彩幸
	8月9日	特別支援分科会 一関保健センター	菅原亜耶
			千葉友子
	8月2日	健康分科会 一関文化センター	石川京子
			千田美夕紀
	8月22日	保健衛生分科会 菜の花プラザ	宮本香
			小野寺萌
	8月29日	給食分科会 一関保健所	佐藤未希
	12月5日		夏堀綾香
			大沼向日葵

各研修	6月11日 7月16日	TKC会計ソフト説明会 一関藤の園	山田幸枝
	7月2・3日	リーダー職員研修 盛岡アイーナ	佐藤宏美
	7月27日	カトリック研修 矢巾キャラホール	佐々木利恵
	9月24日	食品衛生、栄養講演会 一関合同庁舎	佐藤未希 大沼向日葵
	10月21日	一関保育協議会全体研修会 Uドーム	職員16名
	10月30・31日	社会福祉従事者新任職員研修 盛岡アイーナ	菅原彩 前田祥

◎実習生・体験学習受け入れ状況

◎受け入れ校9校

計17名

学校名		実習期間	人数
石巻専修大学	人間学部 人間教育学部（実習Ⅰ）	5月13日～5月24日	1
宮城学院女子大学	教育学科 幼児教育専攻（実習Ⅱ）	6月10日～6月21日	1
東北福祉大学	社会福祉学科（実習Ⅰ） （実習Ⅱ）	8月19日～30日 9月2日～9月13日	1
修紅短期大学	幼児教育学科（実習Ⅰ）	2月14日～28日	2
一関東中学校	2学年	8月27日～29日	3
一関中学校	2学年	9月3日～5日	2
附属中学校	2学年	10月23日～10月25日	3
桜町中学校	2学年	11月6日～8日	3
一関第二高等学校	1年生	11月9日	1

5. 管理関係

◎職員健康管理

◇一般健康診断 6月26日

◇腸内細菌検査（東和微生物検査所）

・対象職員 保育教諭・給食担当職員

4月2日	5月7日	6月4日	7月2日
8月6日	9月3日	10月1日	11月5日・19日
12月3日	1月7日・21日	2月4日	3月4・17日

◎児童健康管理

◇内科検診（佐藤小児科） 5月10日 11月8日 全園児

◇歯科検診（久保田歯科） 6月6日 全園児

◇交通安全教室（生活環境課） 6月7日 年長児・年中児 10月4日 年長児

◎避難訓練

日時	訓練種別	想定	参加人数
4月18日	不審者	時刻 AM10:00 キーワードによる放送 状況に応じて安全な場所に避難 担当 副園長佐々木利恵	児童 91名 職員 21名
5月28日	火災（総合避難訓練）	時刻 AM10:00 出火場所 台東会館 方法 放送後玄関前 担当 佐藤美香・佐藤宏美	児童 78名 職員 21名
6月13日	暴風雨による水害	時刻 AM10:30 大雨、園孤立2階遊戯室全員避難 担当 小野寺季楽	児童 68名 職員 23名
7月4日	地震	震度 3 時刻 AM9:30 方法 緊急放送で机下 担当 菅原亜耶	児童 98名 職員 20名
8月21日	不審者	時刻 PM4:00 キーワードによる放送 状況に応じて安全な場所に避難 担当 山田幸枝	児童 74名 職員 20名
9月5日	台風・暴風雨 土砂災害の危険	時刻 AM10:00 身支度を整え、避難場所である南小学校に避難する 担当 小野寺萌	児童 92名 職員 21名
10月16日	火災（総合避難訓練）	時刻 AM10:00 出火場所 給食室 放送後園駐車場 担当 佐藤美希・夏堀綾香	児童 79名 職員 21名
11月14日	地震	震度 2 時刻 PM4:00 方法 緊急放送で机下 担当 大沼向日葵	児童 99名 職員 21名
12月7日	不審者 土曜保育中	キーワードによる放送 状況に応じて安全な場所に避難 担当 園長 斎藤志華子	児童 6名 職員 3名
1月24日	火災	時刻 PM4:00 出火場所 つぼみ組調乳室 放送後園庭 担当 千田美夕紀	児童 74名 職員 19名
2月18日	地震	震度 4 時刻 PM3:00 担当 前田祥 放送ベルで目覚め、布団をかぶる	児童 89名 職員 20名
3月13日	地震直後火災発生	震度 5 時刻 AM10:30 放送ベル合図 様子をみて安全な場所に避難 担当 前田祥	児童 87名 職員 21名

◇消防設備点検（文林商会）

・9月9日 3月27日

6.年 間 行 事

月 別	行 事			
4 月	1 進級・入園の日 18 避難訓練 12・26布団持ち帰り	10 ECC 23 職員会議 26 親子バス遠足(年長)	13 音楽療法 19 誕生会	14 クッキング(年長) 26 手作り弁当の日
5 月	10 内科検診 24 誕生会 10・24布団持ち帰り	10 ECC 16 手作り弁当の日 30 マリア祭	23 音楽療法 28 総合避難訓練 20 職員会議	14 クッキング(年長) 22 巡回相談 10 図書
6 月	6 歯科検診 12 ECC 24 職員会議	5 クッキング 13 避難訓練 28 未満児保育参観	7 交通安全教室 19 プール開始	20 音楽療法 21 誕生会 14・28布団持ち帰り
7 月	4 避難訓練 22 職員会議	9 音楽療法 12・25布団持ち帰り	10 ECC 20 職員会議	19 誕生会 26 お楽しみ会
8 月	10 ～20夏季休業(1号認定のみ) 30 誕生会 19～30東北福祉大 社会福祉学科 実習生 実習Ⅰ	7 ECC 23 職員会議 27日～30日 一関東中体験学習 2年生	22 避難訓練 27 音楽療法	
9 月	3 クッキング(年長) 21 運動会 13・27布団持ち帰り 2～13東北福祉大 社会福祉学科 実習生 実習Ⅱ	5 避難訓練 24 職員会議 25 ～10/3個人面談(年長・年中・年少) 3日～5日 一関中体験学習 2年生	11 ECC 27 誕生会	19 音楽療法
10 月	4 交通安全教室 16 総合避難訓練 31 ハロウィーン 23 ～25 附属中学校 体験学習 2年生	18 手作り弁当の日 25 誕生会 11・25布団持ち帰り	1・24音楽療法 22 職員会議	18 親子レク(年中・年少) 9 ECC
11 月	1 交流会(年長・南小1年生) 7クッキング 14 避難訓練 22 誕生会 6 ～8桜町中体験学習2年生	8 内科検診 15 七五三 7・22布団持ち帰り	20 職員会議 28 手作り弁当の日	13 ECC 21 音楽療法
12 月	2 音楽療法 13 誕生会 4 ～6一関学院 インターンシップ2年生 23 ～1/6冬期休業(1号認定のみ)	6 サンタニコラオ祝祭日 17・18お遊戯会総練習 23 職員会議 13・27布団持ち帰り	7 避難訓練 20 クリスマスお遊戯会 29・30・31年末休み	11 ECC 5 手作り弁当の日
1 月	1. 2. 3.年始休み 21 職員会議 17・31布団持ち帰り	8 ECC 22 クッキング	10 誕生会 23 音楽療法	16 手作り弁当の日 24 避難訓練
2 月	3 節分 10 ～17新入児説明会 14・28布団持ち帰り 2/14～28 修紅短大 幼児教育学科 実習生 実習Ⅰ	7 卒園記念写真 18 避難訓練 13 手作り弁当の日	7 誕生会 19 クッキング(年長)	12 ECC 21 職員会議
3 月	6 手作り弁当の日 18 音楽療法 14 布団持ち帰り 28・31新年度準備	7 誕生会 21 リクエスト給食 24 職員会議 22 ～31学年末休業(1号認定のみ)	12 ECC 21 園内お別れ会	13 避難訓練 22 卒業式

7. 教育・保育実践の概要

○ 教育・保育方針

キリスト教的情操教育を根底とし、あたたかい雰囲気の中で子ども独自の人格の発展性を主眼としたモンテッソーリ教育法を取入れ保育する。

○ 実践内容

◎モンテッソーリ教育

モンテッソーリ教具による個別指導を中心とした自由選択活動の環境を設定し、本来縦割りクラスでの実施であるがコロナ感染等配慮し今年度は年齢別クラスにおいて、午前中の保育時間に取り組み集中して活動に取り組む事で自己決定、自立へと導く。

◎食育

保育園における食育は、楽しく食べる子どもに成長していくことを期待し、食べ物を選べる子・元気な体のわかる子・食べ物の育ちを感じる子・味のわかる子・料理のできる子を目指して行う。

◇クッキング保育

年数回年長児を対象に栄養士、保育士と共に、実際に食材に触れ、調理器具を使用し調理実習を行う。子ども達自身で調理した料理をみんなで実食する。

実施日		対象児	実施内容
4月	16日	5歳児	◎クッキング おにぎり作り(しゃけ・ツナマヨ)
5月	12日	5歳児	◎野菜の苗植え (ミニトマト・えだまめ・さつまいも) ◎畑の草取り
6月	5日	5歳児	◎お弁当作り(ウインナー・はるまきを詰めて完成)
	15日	5歳児	◎梅ジュース作り:梅のヘタ取り
7月	21日	全園児	とうもろこしの皮むき
	27日	5歳児	◎野菜の収穫(トマト)
8月	23日	5歳児	◎野菜の収穫(えだまめ)
9月	3日	5歳児	◎クッキング ずんだシェイク・アイスクャンディー
10月	10日	5歳児	◎クッキング みたらしだんご ◎梅ジュース完成 試飲
11月	7日	5歳児	◎クッキング(スイートポテト)
1月	22日	5歳児	◎クッキング(プチケーキ)
2月	19日	5歳児	◎サイエンスショー
3月	14日	全園児	年長児リクエスト献立給食

◆リクエスト給食

料理の名前を覚えたり献立を考えたりすることで食への関心を深める。年長児が自分たちで献立

を考え、実際に給食で食べる。

実施日	メニュー
3月14日	昼 食:唐揚げ・きんぴらごぼう・なめこ汁・デコボン・いちご
	おやつ:フルーチェ

◎英語教室

英語に親しみを持ち、音楽やゲームを通して外国の文化に触れ楽しみながら英語を学ぶことを目的とする。

英語を使って表現することでコミュニケーションを取る楽しさを味わう。幼児期から体験することでリスニングが鍛えられ、英語に対する抵抗感がなくなるメリットがあると考ええる。

・対象児:年長・年中児 月1回 1レッスン 30分 外部講師による指導

◎特別支援児保育事業

◆音楽療法

音楽を通して子どもの心を癒し、様々なセッションを行い楽しく参加することにより人と人との間で心理的なコミュニケーションを持てるように導いていく。

月1回 音楽療法士、特別支援専門員、保育士と実施する。

対象児:5歳児1名 4歳児3名 3歳児2名 対象クラス:5歳児20名

実施日		参加対象児		実施内容	
4月	25日	5歳児	17名	・はじまりの挨拶	・手遊び ・積み木
				・合奏(マラカス)	・たいこ
				・名前と朝ごはん	・ビーズスティック
		計	17名	・おわりの挨拶	・ツリーチャイム
5月	23日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶	・ハムスターベル
		4歳児	2名	・合奏(マラカス)	・ビーズスティック
		3歳児	1名	・たいこ	
		計	5名	・ツリーチャイム	
6月	20日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶	
		4歳児	2名	・ガリガリ君	・ビーズ・シロフォン
		3歳児	1名	・合奏(マラカス)	
		計	5名	・合奏(タンバリン)	・おわりの挨拶
8月	28日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶	・たいこ
		4歳児	2名	・合奏(マラカス)	・危機一髪
		3歳児	1名	・ガリガリ君	・ビーズ・シロフォン
		計	5名	・おわりの挨拶	
9月	19日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶	・ベル ・シロフォン
		4歳児	2名	・卵マラカス	
		3歳児	1名	・合奏(マラカス)	

		計	5名	・ゲーム(ビーズスティック)
10月	1日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶
		4歳児	3名	・卵マラカス
		3歳児	2名	・合奏(マラカス) ・たいこ ・積み木
		計	6名	・ゲーム(ビーズスティック・アイス)
	24日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶 ・ベル ・おにぎり
		4歳児	3名	・手遊び ・ゲーム(ビーズスティック・アイス)
		3歳児	2名	・合奏(マラカス) ・シロフォン ・さよなら
		計	6名	
11月	21日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶 ・卵マラカス
		4歳児	3名	・シロフォン :積み木
		3歳児	2名	・ビーズスティック ・タッチベル
		計	6名	・玉入れゲーム ・さよなら「ツリーチャイム」
12月	2日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶 ・卵マラカス
		4歳児	3名	・うさこ ・毛虫(布) ・ポンポン
		3歳児	1名	・シロホン ・おわりの挨拶 ・ビーズスティック
		計	5名	
1月	23日	5歳児	1名	・はじまりの挨拶 ・糸巻き
		4歳児	3名	・シロホン
		3歳児	2名	・タッチベル ・おわりの挨拶
		計	6名	・ゲーム(ビーズスティック)
2月	20日	4歳児	3名	・はじまりの挨拶 ・糸巻き
		3歳児	2名	・わにわにパニック
		計	5名	・ゲーム(ビーズスティック)

◆定期巡回相談

実施日	クラス	在籍人数	対象児人数	対象児計	巡回相談員	
5月21日	3歳児	26名	2名	7名 105名	特別支援コーディネーター	1名
	4歳児	23名	3名		こども家庭課保健師	2名
	5歳児	20名	2名		かるがも教室指導員	2名
			計		言語聴覚士	1名
					計	6名

8. 設備関係

◎総括

新園舎の1歳児クラス、2歳児クラスのテラスにアルポリックパネルを使ったひさしがついていたが、設置時からデッキ部分が雨天の度汚水に覆われる。又、日差しを遮る効果がなく保育室テラス側は温暖化、猛暑によって冷房を入れて調整しても強い日差しによって暑くなり快適な環境空間づくりが難しかった。0歳児クラスにはテラスはないが、たたき部分が同様の状況だったため3クラスにテラスエクステリアを設置する。暑さ、日差しが改善され利用用途が広がる。

園庭に設置した2カ所の手洗い足洗い場の新設から5年経ち園児の砂遊びによる砂の蓄積で排水出来ない状態になり、解決には大掛かりな配水管工事になるということで今回は、水盤に溝を創ることで水盤に溜まる水の排水を確保する工事をする。

グラウンドの園児用ログハウス接地面についても、5年過ぎ園児によりかなり土壌が荒らされ陥没の危険が懸念されたことにより砂敷き工事を行う。

2階園児用トイレブースのドアについては設置部分の不具合が当初からあり、その都度こまめに対応したが、設置面の陥没等悪化、危険を伴うため修繕工事を依頼したところ、そもそも入っているべき部品が装着されていないことが発覚した。

年・月・日	品目・工事名	業者名	勘定科目	金額
R6・5・7	HP ノート PC250G9 7G7S5PA#ABJ	エクナ(株)	器具及び備品	146,300
R6・5・29	未満児クラス テラスエクステリア工事	平野組(株)	建物取得	2,145,000
R6・10・15	園庭足洗い場 改修工事	協和木材 (株)	修繕費	150,000
R7・2・5	遊具砂敷込み工事	ハタセ(株)	修繕費	49,500
R7・2・13	2階園児用 トイレブース修繕工事	平野組(株)	修繕費	72,600
R7・3・10	厨房排水修繕	清水官工業 (株)	器具及び備品	58,300

令和 6 年度

4 事業報告書

(自) 令和 6 年 4 月 1 日 (至) 令和 7 年 3 月 31 日

社会福祉法人 ふじの園

児童育成支援拠点事業・第三の居場所ういすてりあ

1 社会福祉法人ふじの園基本理念

- ・基本理念『キリストの愛と光によって導かれた子どもたちの尊厳と幸福を目指します』

私たちは、キリストの愛に倣い、子どもたち一人ひとりをかけがえのない存在として受け止めます。そして、子どもたちが自分らしく幸せに生きていくことができるように、いつでもどんな時でも子どもたちを支えていきたいと願っています。

- ・基本方針

社会福祉法人ふじの園は、多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援します。

2 ういすてりあの概要

- (1) 事業の種類 児童育成支援拠点事業（第二種社会福祉事業：一関市の委託事業）
一関市こども第三の居場所推進事業（一関市の補助事業）
- (2) 事業の目的 第三の居場所は、家庭や学校以外で子どもたちに安心して過ごせる居場所を提供し、子どもたちが信頼できる大人や友だちと過ごしなが、生活習慣や学習習慣を整え、将来の自立に向けて生き抜く力を身に付けられるように支援していくことを目的とします。
- (3) 事業所名称 児童育成支援拠点事業・第三の居場所「ういすてりあ」
- (4) 事業所所在地 岩手県一関市山目字前田7-1-1
- (5) 電話番号 090-2363-4744 メールアドレス fuji.wisteria@outlook.jp
- (6) 職員構成 所長 小野寺 雄馬 児童支援員 千田 知子 児童支援員 菊地 治美
- (7) 開所年月日 令和7年4月1日予定
- (8) 利用定員 20名
- (9) 開所日及び開所時間 月曜日～金曜日
午後2時～午後8時（長期休暇期間（夏休みなど）：10時～20時）
（土、日、祝祭日、お盆、年末年始は閉所）

・支援の内容

- (1) 安心・安全な居場所の提供
- (2) 生活習慣の形成（片付けや手洗い・うがい等の健康管理の習慣づけ、日用品の使い方に関する助言等）
- (3) 学習の支援（宿題の見守り、学校の授業や進学のためのサポート等）
- (4) 食事の提供
- (5) 課外活動の提供
- (6) 学校、医療機関、地域団体等の関係機関との連携
- (7) 保護者への情報提供、相談支援
- (8) 送迎支援

《1日のスケジュール》

14:00 宿題／個別学習
 15:00 おやつ（おやつを食べながら1日の出来事をおしゃべりする）
 16:00 日替わり活動（体験活動、外遊び）
 17:00 読書や入浴
 17:45 配膳
 18:00 夕食
 18:30 食器洗い・掃除・入浴
 19:00 自由時間（入浴）※保護者迎え
 20:00 閉所

3 令和6年度の主な出来事

日 時	主 な 出 来 事
令和6年	
6月6日	新築工事入札
6月26日	起工式
7月22日	一関市「子ども第三の居場所」助成決定授与式
8月7日	第1回定例会議 設計監理者：建築設計おばら事務所 施工者：(株)平野組
8月29日	第2回定例会議
9月13日	第3回定例会議
9月18日	子ども第三の居場所いわぬまきち（宮城県岩沼市）見学
9月26日	第4回定例会議
10月17日	第5回定例会議
10月31日	第6回定例会議
11月14日	第7回定例会議
11月28日	第8回定例会議
12月17日	施主検査
12月19日	引き渡し・取り扱い説明
1月29日	一関西消防署による査察
1月31日	一関市役所資産税課による土地・家屋調査
2月3日	開所（プレオープン）
3月14日	一関市「子ども第三の居場所」協定書調印
3月25日	第3回法人定時理事会（開設費の収支報告と運営状況）

4 事業評価

- 事業目標の達成状況
 登録児童数がプレオープン期間の約2か月間で10件以上となった。また利用を検討する見学者も5名程度あった。

・事業実施によって得られた成果

当初は隣接学区のみの児童対象であったが学区外の児童も対応できたこと。

利用する児童・保護者共に満足しているとの評価を得ていること。

・成功したこととその要因

親子分離の難しいケースについて、児童・保護者の意向をそれぞれ確認し、利用していく中で適度な距離感を構築できたこと。

毎日少人数の利用であったため、個別的で丁寧な関わりができたことが要因である。

・課題とその要因

登録はしているが利用に結びつかない3ケースがあった。市との連携や役割分担が要因であった。今後、市と連携し児童・保護者の意向を確認しながら利用につなげていきたい。

・事業成果物

利用児童・保護者も安心できる環境で利用できていること。

不登校児童が保護者と離れ、少しずつ居場所利用できるようになったこと。

利用児童が法人主催の子ども食堂に参加できたこと。

【第三の居場所ういすてりあ利用状況（令和7年3月31日現在）】

No.	利用児	性別	学区	利用回数(週)	要対協ケース	虐待の有無	利用者状況						食事	入浴	送迎
							家族状況	生活困窮	孤食	不登校	発達障害	アウトリーチ			
1	小1	男	萩荘	4			単親 両親	○			○		○	○	○
2	小2	男	花泉	1	○	○	単親 両親		○		○		○	○	○
3	小3	女	南	2	○	○	単親 両親				○		○	○	○
4	小3	男	一関	2	○	○	単親 両親		○		○		○	○	○
5	小3	男	萩荘	3		○	単親 両親				○		○	○	○
6	小4	男	滝沢	2	○	○	単親 両親	○	○	○	○	○	○		○
7	小5	男	花泉	1	○	○	単親 両親	○		○	○		○		○
8	小5	男	一関	3	○	○	単親 両親	○	○		○		○	○	○
9	小6	男	山目	4			単親 両親		○		○		○	○	
10	小6	男	山目		○	○	単親 両親	○		○	○	○			
11	小6	女	一関	2	○	○	単親 両親		○				○	○	○
12	中1	男	磐井		○	○	単親 両親	○	○	○	○	○			
13	中1	男	磐井		○	○	単親 両親	○	○		○	○			
計				12	11	7	単親8 両親5	7	8	4	12	4	10	8	9

【令和7年2月3日～3月31日までの利用状況】

期 間	利用児童数(人)	開所日数(日)
2 月	17 人	18 日
3 月	27 人	19 日
利用合計	44 人	計 37 日
一日平均	1.2 人	

5 関係機関との連絡会議等の状況

日 時	機 関 名	参加職員	会 議 の 内 容
R 6 . 9 . 3	一関市こどもセンター 一関児童相談所	3	開所に向けた関係者打ち合せ
R 6 . 10 . 1	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
R 6 . 10 . 16	一関市こどもセンター 一関児童相談所	3	利用検討児童について
R 6 . 11 . 29	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
R 7 . 1 . 9	一関市こどもセンター	3	開所に向けた関係者打ち合せ
R 7 . 2 . 13	一関市要対協実務者会議	1	要保護児童の状況等について
R 7 . 3 . 6	一関市こどもセンター	3	プレオープン後の利用児童の現状

6 視察・見学者の状況

年 月	所 属	人 数	備 考
R 7 . 2 . 6	一関市学校長	7	《見学の内容》 ・施設の概要 ・建物及び設備の説明 ・利用児童の状況
R 7 . 3 . 11	一関市立花泉小学校	1	
R 7 . 3 . 13	岩手県一関第一高等学校附属中学校	1	
R 7 . 3 . 14	一関市長、副市長、教育長、健康こども部長 教育次長、B&G 財団理事長、前田民区区长、 他関係機関	20	
R 7 . 3 . 25	社会福祉法人ふじの園理事及び監事	8	
計		37	

※利用前の見学者随時受け入れあり。

7 情報公開の状況

情報公開ツール	内 容
岩手日報 2024 年 9 月 12 日	事業内容紹介
岩手日日 2025 年 3 月 15 日	事業内容紹介・内覧会について
岩手日報 2025 年 3 月 18 日	事業内容紹介・内覧会について
その他：山目前田民区「前田ちょこっと通信」にて事業所の紹介文書と写真を添付していただく。	

8 民区・地域との交流の状況

日 時	名 称	参加者	内 容
R 6 . 3 . 31	法人主催 子ども食堂	2	地域の子ども達とひつつみを調理

9 外部研修の状況

日 時	研 修 名	主催団体名	開催場所	参加職員名
R6.11.7～8	「子ども第三の居場所」フォローアップ研修会 (※開設準備中拠点のためオンライン参加)	B&G 財団	東京海洋 大学	小野寺
R7.2.19～21	「子ども第三の居場所」マネージャー現場研修	B&G 財団	群馬県	小野寺

10 実施行事

実施内容	① <u>バレンタインイベント</u> 実施日：2025 年 2 月 14 日 場所：ういすてりあ 内容：児童と一緒にケーキを作る。1 名のみの参加であったが、家族にも自身が作ったお菓子をプレゼントする。 ② <u>法人主催 こども食堂</u> 実施日：2025 年 3 月 31 日 場所：山目市民センター 内容：2 名が参加。一関市の郷土料理である「ひつつみ」を調理して皆で頂く。地域の子ども達との良い交流も出来た。
活動写真	バレンタインイベント   こども食堂  